

CDP Forests 2019 Questionnaire



CDPフォレスト質問書のプレビュー・回答ガイダンス2019 - バージョン管理

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **バージョン番号** | **発行／改訂日** | **改訂概要** |
| 0.1 | 公開日：2018年12月17日 | * 2019年フォレスト質問書プレビュー・回答ガイダンスの暫定版が公開されました。
 |
| 0.2 | 公開日：2019年2月15日 | 金属・鉱業および石炭関連セクター* 「質問内容の背景・根拠」、「回答要望項目」、「用語の説明」、「追加情報」を公開しました。
 |
| 0.3 | 更新日：2019年3月14日 | * CDPに回答を提出する際の条件が2019年に向けて更新されました。

一般質問* アカウンタビリティ・フレームワーク・イニシアチブ(AFi)とのリンクが「他のフレームワークとの関連」に追加されました。
* F1.1a:新しい「回答例」
* F1.4:新しい「追加情報」
* F1.4a:新しい「回答例」
* F1.4b:新しい「回答例」
* F2.1a:新しい「追加情報」
* F3.2b:「回答要望項目」の明確化
* F6.1b:新しい「回答例」
* F6.3a:新しい「追加情報」
* F6.7:新しい「追加情報」
* F7.1a:新しい「追加情報」
 |

CDP2019回答スケジュール

質問書プレビュー、回答ガイダンス、スコアリング方法へのアクセス

CDPの質問書プレビュー、回答ガイダンス、スコアリング方法は、CDPウェブサイトの「[企業向けガイダンス](https://www.cdp.net/en/guidance/guidance-for-companies)」ページからプログラム(気候変動、フォレスト、水セキュリティー)別にアクセスできます。3つのプロンプト画面が表示され、貴社に関連するセクターとその他詳細を選択できるようになります。質問書は、投資家からの回答要請、およびCDPサプライチェーンプログラムに参加する顧客からの回答要請の両方に対応しています。質問書全体を通じて各セクター固有の質問が含まれています。ご回答中、質問番号が飛ぶこともありますが、これは、すべての質問が貴社に当てはまるわけではないためです。

質問書に対する回答は、CDPのオンライン開示プラットフォームの一部であるCDPのオンライン回答システム(ORS)を通じて提出されます。詳細については、「 [CDPのオンライン回答システムの使い方](http://b8f65cb373b1b7b15feb-c70d8ead6ced550b4d987d7c03fcdd1d.r81.cf3.rackcdn.com/cms/guidance_docs/pdfs/000/001/573/original/CDP-disclosure-platform-guide.pdf?1524239399)」を参照して下さい。質問自体はORS内にあるため、質問書プレビューのものと同じです。一方で、特にドロップダウン選択肢や表など書式が異なる場合があることにご注意ください。

質問書の完全版と簡易版

すべてのCDP質問書に、簡易版と完全版の2つのバージョンがあります。簡易版は同一の質問を含みますが、質問の数は少なく、セクター固有の質問またはデータポイントは含みません。

* 簡易版の質問書には以下の企業が回答できます:

-

上記基準を満たしている企業は簡易版を回答することができますが、スコアリングの対象とならない場合があります。

スコアリング対象資格とスコアリング方法についての詳細は、「」をご覧ください。

年間売上高がEUR/US$2億5000万未満で、過去にCDPに回答している場合、企業の潜在的または既存の環境影響により、簡易版の質問書の選択肢を削除する権利をCDPは留保します。

簡易版の対象となる企業であっても、自社やステークホルダーにとって有益であると考える場合には、完全版に対して回答することを選ぶことができます。

スケジュール:

|  |  |
| --- | --- |
| 12月2018 | * CDPウェブサイトで公開された質問書のプレビューと回答ガイダンス暫定版
 |
| 2019年3月 | * 回答ガイダンスとスコアリング方法の最終版がCDPウェブサイトに公開されます。
 |
| 2019年4月 | * CDPオンライン回答システム(ORS)にアクセスできるようになります。
 |
| 2019年7月 | * 投資家とサプライチェーン質問書の回答提出期限は2019年7月31日です。期限内に提出すると自動的にスコアリング対象となり、CDPレポートの分析対象に含まれます(該当する場合)。
 |

情報開示に関するご質問は、respond@cdp.netにお問い合せください。

CDPフォレスト質問書

CDPのフォレストプログラムと質問書

世界的な農産物の需要は、農業生産のために木材が持続不可能に採取され、土地が切り開かれることにより、森林減少と森林劣化の主な要因となっています。森林リスク・コモディティは世界中で取引されている何百万という製品の構成要素であり、多くの組織のサプライチェーンで取り扱われているため、事業にとって大きなリスクとなります。

森林減少と森林劣化は、世界の温室効果ガス排出量の約15%を占めます。森林減少と森林やその他の重要な生態系の劣化を止めることは、危険な気候変動を防止し、事業において農産物の長期的な供給を確保することと共に、温室効果ガス排出量と自然資本の喪失を大幅に削減する上で不可欠です。

CDPのフォレストプログラムは、96兆米ドルの資産を有し、森林関連リスクに曝されることへの組織の対処方法を把握することを希望する525を超える署名投資家を代表しています。2018年は、455の組織がCDPのフォレスト質問書に回答しました。この質問書では、森林減少に関連する4つの主要農産物(木材、畜産物(牛)、大豆、およびパーム油)に関して企業が生産、調達、使用する方法に焦点を当ててています。モジュールは「最終承認」を含めて10あります。これに、CDPのサプライチェーンプログラム参加企業に商品・サービスを提供する企業のみを対象とするモジュールが1つ加わります。モジュールF10～F17は、金属・鉱業および石炭関連セクターの企業だけに表示されます。

下表に、質問書で検討される各コモディティの形態に関する詳細を示します。

|  |  |
| --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **説明** |
| 木材 | これには、すべての一枚板のほか、紙、段ボール、および特殊繊維(例えば、ビスコース)などの加工木材ファイバーから作られた製品も含みます。さらに、バイオマスに使用する材木製品。 |
| パーム油 | 粗パーム油、パーム核油、およびその誘導体のすべてを含みます。バイオ燃料の生産に使用されるパーム油も、該当する場合は本カテゴリーに含まれることにご注意ください。 |
| 畜牛品 | これには、牛肉を含むすべての食品、牛皮を原材料とするすべての衣料、家具、およびアクセサリ、牛脂、ならびに、牛に由来するその他すべての製品を含みます。バイオ燃料の生産に使用される牛脂も、該当する場合は本カテゴリーに含まれることにご注意ください。 |
| 大豆 | これには、大豆を含むすべての食品や油と、大豆から得られる派生品を含みます。バイオ燃料の生産に使用される大豆も、該当する場合は本カテゴリーに含まれることにご注意ください。 |

行動の約束

CDP と「[We Mean Business](https://www.wemeanbusinesscoalition.org/take-action/)」連合におけるパートナーは、重要な気候問題に関して行動を起こす企業のための中枢プラットフォームを作りました。あらゆる経済セクターと地域を代表する数百の企業が今までに行動を起こしました。

これらの企業が示したリーダーシップが、2015年にパリでのCOP21で到達したソリューションのパッケージの重要な部分を形作り、成長を続けてきました。パリ協定が協定から実施に移るにつれて、現在ではリーダーシップが重要な役割を果たしています。We Mean Businessの「Take Action」プラットフォームは、政府が2020年までに国家公約を準備するのに合わせ、企業が低炭素世界へ移行し、政策立案者の意欲を高める自信を持たせることで、企業に対してパリ協定を企業のビジネス戦略に組み込み、将来的に成長するための明確な方針を提示します。

企業は、2020年までのすべてのサプライチェーンからの一次産品由来の森林減少を排除することをWe Mean Businessプラットフォームで誓約できます。この誓約は、CDPフォレスト質問書で追跡できます:

* 概要:世界の温室効果ガス排出の約10～15%を占める森林減少と森林劣化に取り組むことは、気候変動緩和の重要な要素です。産業界はサプライチェーンからコモディティ由来の森林減少を排除することで、森林減少に結び付いた商品をどのように持続可能に生産できるかについての課題解決に向けて主導していきます。
* 回答:F6.1とF6.1bを全部回答するほか、F1.5、F1.5a、F3.1、F3.1b、F3.2、F3.2a、F6.1a、F6.2a、F6.3、F6.4、およびF6.9に回答することで、企業はこの誓約を報告し、進むことができます。

CDPと森林に関するニューヨーク宣言(NYDF)

[森林に関するニューヨーク宣言(NYDF)](https://nydfglobalplatform.org/)は、2020年までに自然林の喪失を半減させることに向けて共同作業し、2030年までにそれを終える政府、企業、市民社会団体、およびその他のステークホルダーの自発的なイニシアチブです。CDPはNYDFの支援する組織の一つです。

CDPは、[NYDF進捗評価パートナー](http://forestdeclaration.org/)の一員でもあり、NYDFに向けた進捗を年に1回モニタリングしています。この評価を行っているNGOや研究機関は年々増えています。

現在のところCDPデータは、*2020年までにパーム油、大豆、木材、畜産物(牛)などの農産物の生産による森林減少を排除する*ように努力するNYDF Goal 2の評価を支援するために使用されています。CDPでは、非農業要因と関連がある森林損失の軽減が焦点となるNYDF Goal 3の評価に寄与するよう、開示されたデータを使用することも予定しています。

CDPとアカウンタビリティフレームワーク。イニシアチブ(AFi)

CDPは、企業が責任ある農業および林業サプライチェーンに関する誓約を実現するのを支援する[AFi](https://accountability-framework.org/)の共同活動の一員です。広範囲に及ぶパートナーとの協働で発展したアカウンタビリティフレームワークは、共通の定義、規範、および企業が責任のあるサプライチェーン誓約を設定、実践、監視、および報告するのを支援するベストプラクティスを規定するように設計された一連の原理とガイドラインを示します。

CDPは、アカウンタビリティフレームワークで規定された原理に関して企業がより直接的に報告できるようにするために、これらの定義とガイドラインとの更なる連携を確保するようにAFiと協力して取り組んできました。現在のところ、CDPのフォレスト質問書に対して回答する企業はAFiによって規定された以下のような重要な指標に関して報告できるようになります。:

* 責任あるサプライチェーンを確保する誓約:F6.1aおよびF6.1b;
* 現在の認証スキームと持続可能性基準:F6.4およびF6.5;
* 持続可能な生産および消費に関する目標F6.2a;
* モニタリングおよびトレーサビリティシステム:F6.3a
* 検証：F8.1a
* 小農地所有者、直接および間接サプライヤー、および複数のステークホルダーイニシアチブとの協働:F6.6、F6.8、F6.8、F6.9

フォレスト質問書の全般的な変更点

2019年に関して質問書に大きな変更点はありません。開示企業の経験を向上させ、データ使用者からの要求を満たすほか、他の報告枠組み、政策目標、CDPの水セキュリティーおよび気候変動質問書とより上手く連携するために、フォレスト質問書の構造や内容が改訂されている部分があります。特に、アカウンタビリティフレームワーク・イニシアチブによって設定された原理、定義およびガイドラインとの連携を確保するために、質問書では小さな修正が実施され、重要な定義が改訂されました。

[2018年から2019年へのフォレスト質問書の変更点](https://b8f65cb373b1b7b15feb-c70d8ead6ced550b4d987d7c03fcdd1d.ssl.cf3.rackcdn.com/cms/guidance_docs/pdfs/000/000/479/original/CDP-forests-changes-document.pdf?1518702840)に関する詳細文書はウェブサイトで入手可能です。質問に対する改訂点は各質問の下の「2018年からの変更点」においても、「変更なし」、「軽微な変更」、「修正あり」、「新規質問」または「ガイダンスの修正」として示されます。

「軽微な変更」は言い回しの編集、ドロップダウン選択肢の改訂、またはより明確化したことを示す一方で、「修正あり」は回答要望内容を改訂したことを示します。

セクター別質問

2019年に関して、フォレスト質問書に回答する企業には石炭関連、金属・鉱業、製紙および林業のセクターに合わせた質問が示されます。最初の2つは新規セクターですが、一方で製紙および林業のセクターは2018年から設定しています。これらのセクター向けに質問を作成する背景・根拠は、関連セクターのイントロダクションで説明しています。これのセクターに関連しない事業活動を行う組織は前年同様一般質問書を受け取ります。

フォレスト質問書の各質問番号は文字「F」で始まります。セクター別質問は、以下のように質問番号の中に2文字の略語を用いた表示が付いています。

* 石炭関連セクター：F-CO
* 金属・鉱業セクター：F-MM
* 製紙および林業セクター：F-PF

F0 はじめに

イントロダクション

(F0.1)　御社の基本情報をご入力下さい。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

これは、5,000文字の制限のある自由回答式の質問です。

別の文書から開示プラットフォームにコピーする場合、書式設定が保持されないことにご注意ください。

(F0.2) データの報告年の開始日と終了日を入力してください。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |
| --- | --- |
| **開始日** | **終了日** |
| 開始日: [日/月/年] | 終了日: [日/月/年] |

(F0.3) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |
| --- |
| **通貨** |
| 選択肢:[通貨のリスト] |

(F0.4) 森林リスク・コモディティに関連した貴社の事業領域を、最も適切に表したバリューチェーンの段階を選択してください。

2018年からの変更点

修正あり

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |
| --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **バリューチェーンの段階** |
| 木材 | 該当するものをすべて選択してください:* 生産
* 加工
* 取引
* 製造
* 販売
* 該当なし
 |
| パーム油\* |  |
| 畜牛品\* |  |
| 大豆\* |  |
| その他 – 天然ゴム\* |  |
| その他 |  |

\*製紙・林業セクター企業には表示されません

(F0.5) いずれかの森林リスク コモディティを含む材料または製品を生産、使用、または販売していますか?

他質問との関連

ここでの選択は後続の質問で表示されるコモディティに影響します。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **生産/使用/販売** | **開示** | **生産/使用/販売しているが、開示しない場合の説明** |
| 木材 | 選択肢:* はい
* いいえ
* 不明
 | 選択肢:* はい
* いいえ
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |
| パーム油\* |  |  |  |
| 畜牛品\* |  |  |  |
| 大豆\* |  |  |  |
| その他 – 天然ゴム\* |  |  |  |
| その他 |  |  |  |

\*製紙・林業セクター企業には表示されません

(F0.6) 開示に含まれていない直接操業の部分はありますか?

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい
* いいえ

(F0.6) 回答に含まれない直接操業の部分を特定します。

他質問との関連

この質問は、F0.6の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **除外対象** | **除外の詳細** | **森林関連リスクの可能性** | **説明してください** |
| 選択肢:* 国・地理的エリア
* 事業活動
* 施設
* 特定の製品ライン
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] | 選択肢:* 可能性はない
* 森林関連リスクの可能性はあるが、評価していない
* 森林関連リスクの可能性はあるが、CDPに開示しない
* 不明
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

(F0.7) 回答に含まれていないサプライチェーンの部分はありますか?

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい
* いいえ

(F0.7a) 開示に含まれていないサプライチェーンの部分を特定します。

他質問との関連

この質問は、F0.7の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **除外対象** | **除外の詳細** | **森林関連リスクの可能性** | **説明してください** |
| 選択肢:* 国・地理的エリア
* 事業活動
* 施設
* 特定の製品ライン
* 特定のサプライヤー
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] | 選択肢:* 可能性はない
* 森林関連リスクの可能性はあるが、評価していない
* 森林関連リスクの可能性はありますが、CDPに開示しない
* 不明
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

 [回答行を追加]

F1 現在の状態

森林リスクコモディティへの依存度

(F1.1)貴社が回答するコモディティについて、どのように生産／使用／販売していますか。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

SDG

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **事業活動** | **コモディティの形態** | **調達先** | **原産国/原産地** | **調達コストの割合** | **コメント** |
| 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティのリスト | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 該当するものをすべて選択してください:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 該当するものをすべて選択してください:* 所有/管理している土地
* 小規模農家
* 単発契約の生産者
* 複数契約の生産者
* 貿易業者/ブローカー/商品市場
* 契約サプライヤー(加工業者)
* 契約サプライヤー(メーカー)
* その他(詳述してください。)
 | 該当するものをすべて選択してください:[国/地域のリスト]* 不明
 | 選択肢:* <1%
* 1～5%
* 6～10%
* 11～20%
* 21～30%
* 31～40%
* 41～50%
* 51～60%
* 61～70%
* 71～80%
* 81～90%
* 91～99%
* 100%
* 不明
* 該当なし
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

事業活動(列2)

|  |  |
| --- | --- |
| * 原材料の栽培・生産
* 収穫
* 製粉
* 粉砕
* 食肉処理\*
* 皮なめし\*
* 牛脂の精製\*
* 精製・加工
* 精製・分別
 | * 輸出/取引
* 発電用の製造工程への投入物として使用
* 製品製造への投入物として使用
* 建設用に使用
* 製造済み製品の購入
* 配送/包装
* コモディティまたはコモディティを含む製品の小売/販売
* その他 (具体的にお答えください)
 |

\* 畜牛品のみ

コモディティの形態(列3)

|  |  |
| --- | --- |
| 木材:* 広葉樹丸太
* 針葉樹丸太
* 製材された木材、ベニヤ、チップ
* 未加工木材ファイバー
* パルプ
* 紙
* 板材、合板、加工木材
* 一次梱包材
* 二次梱包材
* 三次梱包材
* セルロースベースの織物繊維
* 木質バイオエネルギー
* 非再販製品(GNFR)

パーム油\*\*:* パーム油の果実
* 粗パーム油(CPO)
* 粗パーム核油(CPO)
* パーム核粕(PKM)
* 精製パーム油
* パーム油誘導体
* パーム核油誘導体
* パーム由来のバイオディーゼル
 | 畜牛品\*\*:* 牛
* 牛脂
* 牛肉
* 副産物(例:グリセリン、ゼラチン)
* 皮革
* 牛脂由来のバイオディーゼル

大豆\*\*:* 未加工の大豆
* 大豆油
* 大豆粕
* 大豆誘導体
* 大豆由来のバイオディーゼル
* その他 (具体的にお答えください)
 |

\*\*製紙・林業セクター企業には表示されません

(F1.1a) 貴社が回答するコモディティの原産地はどの国／地域／地方自治体かを説明してください。

他質問との関連

F1.1の回答で「原産国/原産地」として以下のうちのいずれかを選択した場合にのみ、この質問が表示されます:アンゴラ、アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、カメルーン、中央アフリカ共和国、コロンビア、コンゴ、コートジボワール、コンゴ民主共和国、エクアドル、ガボン、インドネシア、ラオス人、 リベリア、マダガスカル、マレーシア、メキシコ、ミャンマー、ナイジェリア、パプアニューギニア、パラグアイ、ペルー、ベネズエラ・ボリバル共和国、ザンビア。

2018年からの変更点

修正あり

ガイダンスの修正

他のフレームワークとの関連

SDG

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **原産国/原産地** | **国/地域** | **地方自治体** | **説明してください** |
| 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:F1.1の列5で選択された国/地域から作成されたリスト\* | 選択肢:* 国/地域を特定
* 不明
* 開示していない
 | 該当するものをすべて選択してください:* 地方自治体(1)を特定
* 地方自治体(2)を特定
* 地方自治体(3)を特定
* 地方自治体(4)を特定
* 地方自治体(5)を特定
* 地方自治体(6)を特定
* 地方自治体(7)を特定
* 地方自治体(8)を特定
* 地方自治体(9)を特定
* 地方自治体(10)を特定
* 地方自治体(11)を特定
* 地方自治体(12)を特定
* 地方自治体(13)を特定
* 地方自治体(14)を特定
* 地方自治体(15)を特定
* 不明
* 開示していない
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

\* 森林減少リスクが高い熱帯諸国のみが表示されます。

(F1.2) 回答する森林リスクコ・モディティに関連する、報告年における御社の収入の割合を回答してください。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **コモディティに依存する収入の割合** | **コメント** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* <1%
* 1～5%
* 6～10%
* 11～20%
* 21～30%
* 31～40%
* 41～50%
* 51～60%
* 61～70%
* 71～80%
* 81～90%
* 91～99%
* 100%
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

測定

(F1.3) 回答するコモディティの生産に使用される土地を所有または管理していますか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則8:モニタリングと検証

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の表に回答を記入してください。読みやすくするために、数行の上に表が表示されます。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **土地を所有および/または管理していますか?** | **管理方法** | **管理方法の内容** | **国/地域** | **土地の種類** | **面積(ヘクタール)** |
| 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* 所有している
* 管理している
* 所有し管理している
* 所有または管理していない
 | 選択肢:* 財務管理
* 業務管理
* 株式所有
* その他の管理方法について詳述してください
 | 文章記入欄[最大1,000文字] | 選択肢:[国/地域のリスト] | 選択肢:* 植林地
* 非植林地
* 保護休耕
* スキーム/プラズマ小規模農家\*
* 認定を受けた土地
* 不明
* その他 (具体的にお答えください)
* 生産性の高い森林\*\*
* 外部生産者\*\*
 | 数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 0～999,999,999,999の数字を入力] |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林関連リスクをモニタリングするシステムを導入していますか?** | **モニタリングシステムの種類\*\*\*** | **モニタリングシステムの内容** | **最近の違反の有無** | **違反の説明\*\*\*\*** |
| 選択肢:* はい
* いいえ
* 不明
 | 該当するものをすべて選択してください:* 地理情報システム(GIS)
* 地上ベースのモニタリングシステム
* 空中モニタリングシステム
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大1,000文字] | 選択肢:* はい
* いいえ
* 不明
 | 文章入力欄 [最大1,500字] |

[回答行を追加]

\*木材には表示されません

\*\*製紙・林業セクター企業にのみ表示されます

\*\*\*列8で[はい]を選択した場合のみ、列が表示されます。

\*\*\*\*列11で[はい]を選択した場合のみ、列が表示されます。

(F1.4) 回答するコモディティに関して、貴社自身／サプライヤーがブラジル森林法に準拠しているかどうかの情報を収集しているか説明してください。

他質問との関連

この質問は、F1.1の回答の列5 (「原産国/原産地」) で「ブラジル」を選択した場合のみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

AFi

コア原則8:モニタリングと検証

回答形式

以下の表を記入してください:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **ブラジル森林法への準拠に関するデータを収集していますか?** | **説明してください** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* はい、サプライヤーから
* はい、所有および/または管理した土地から
* はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から
* いいえ、データは収集していません
* いいえ、ブラジルの農産物/ブラジルからの調達品はありません。
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

(F1.4a) 開示したコモディティに関して 、ブラジル森林法への貴社自身の準拠を評価するために使用する重要業績評価指標(KPI)と、 この指標に対する実績について回答してください。

他質問との関連

F1.4の回答で「はい、所有および/または管理した土地から」または「はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則8:モニタリングと検証

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **KPIと実績** | **説明してください** |
| 選択肢:F1.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 該当するものをすべて選択してください:* 農村環境登録(CAR)データベースに登録された所有および/または管理した地所の割合:
* 法定保護地(RL)および/または恒久的保護地域(APP)の所有および/または管理した地所の割合:
* 環境規則化プログラム(PRA)の誓約条項に署名した 所有および/または管理した地所の割合:
* 2008年7月以降にグロスでの森林減少のない所有および/または管理した地所の割合:
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

(F1.4b) 回答するコモディティに関して 、貴社のサプライヤーのブラジル森林法への準拠を評価するため 使用しているKPIと、 この指標に対する実績について説明してください。

他質問との関連

F1.4の回答で「はい、サプライヤーから」または「はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則8:モニタリングと検証

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **KPIと実績** | **サプライヤー数** | **説明してください** |
| 選択肢:F1.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 該当するものをすべて選択してください:* 農村環境登録(CAR)データベースに掲載されたサプライヤーの割合
* 法定保護地(RL)および（又は）恒久的保護地域(APP)を持つサプライヤーの割合
* 環境規則化プログラム(PRA)の誓約条項に署名したサプライヤーの割合
* 2008年7月以降、グロスでの森林減少をしていないサプライヤーの割合:
* その他 (具体的にお答えください)
 | 数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 0～999,999,999,999の範囲を入力] | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

(F1.5) 貴社は、回答するコモディティの生産量や消費量のデータを収集していますか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

AFi

<p">コア原則8:モニタリングと検証</p">

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |
| --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **データの入手可能性/開示** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* 消費量データを収集し、開示
* 生産量データを収集し、開示
* 消費量と生産量データを収集し、開示
* データを収集しているが、非開示
* データを収集していない
 |

(F1.5a) 生産量/消費量データを回答してください。

他質問との関連

この質問は、F1.5で「消費量データを収集し、開示」、「生産量データを収集し、開示」、「消費量と生産量データを収集し、開示」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

AFi

<p">コア原則8:モニタリングと検証</p">

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **データの種類** | **量** | **単位** | **データ対象範囲** | **説明してください** |
| 選択肢:F1.5の「...開示」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* 生産量データ
* 消費量データ
 | 数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 0～999,999,999,999の数字を入力] | 選択肢:* トン
* リットル
* ガロン
* 丸太相当量 (RWE)
* 木質原材料相当量 (WRME)
* 立方メートル
* 平方メートル
* その他 (具体的にお答えください)
 | 選択肢:* 全ての生産量/消費量
* 部分的な生産量/消費量
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

(F1.5b) 貴社が回答するコモディティの生産量や消費量のデータを開示しない理由はなんですか?

他質問との関連

この質問は、質問F1.5の回答で「データを収集しているが、非開示」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

<p">コア原則8:モニタリングと検証</p">

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **主な理由** | **説明してください** |
| 選択肢:F1.5の「データを収集しているが、非開示」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* 製品/サプライチェーンでの森林リスク・コモディティの把握が部分的にしかできていない
* データは部外秘
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

(F1.5c) 貴社が開示するコモディティの生産量や消費量のデータを収集していない理由はなんですか?

他質問との関連

この質問は、質問F1.5の回答で「データを収集していない」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

<p">コア原則8:モニタリングと検証</p">

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **主な理由** | **説明してください** |
| 選択肢:F1.5の「データを収集していない」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* 森林関連データ収集を実施中
* 今後2年以内にデータを収集する予定
* 重要だが、事業上の差し迫った優先事項でない
* 重要でないと判断し、理由も説明
* 社内リソースの不足
* 事業活動に関するデータ不足
* 森林リスク・コモディティによる森林減少/森林劣化影響についての知識不足
* 経営陣からの指示がない
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

(F1.6) 貴社では、現在の事業ニーズを満たすのに十分で持続可能な原材料の調達先を特定していますか？調達している場合は、この調達先を確保/維持するためどのような対策をとっていますか？

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **特定した持続可能な調達先** | **供給を確保するための主な活動** | **説明してください** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* はい
* いいえ
 | 選択肢:* サプライチェーン・マッピング
* サプライヤーの多様化
* 供給能力を拡大するため、サプライヤーの改善計画
* バリューチェーンにおけるキャパシティビルディング
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

貴社への有害な影響

(F1.7) 貴社は森林関連の悪影響を被ったことがありますか?

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい
* いいえ

(F1.7a) 貴社が被った森林関連の悪影響の内容と、それへの対応、総合的な財務上の影響について回答してください。

他質問との関連

この質問は、F1.7の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

SDG

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則6:改善と改善措置へのアクセス

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **影響要因の種類** | **主な影響要因** | **主な影響** | **影響の詳細** | **主な対応** | **財務上の影響総額** | **対応の詳細** |
| 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* 物理的要因
* 規制要因
* 評判及び 市場要因
* 技術的要因
 | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 文章入力欄 [最大1,500字] | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 0～999,999,999,999,999,999の数字を入力] | 文章入力欄 [最大1,500字] |

[回答行を追加]

主な影響要因(列3)

|  |  |
| --- | --- |
| 物理的要因:* 異常気象事象の深刻度の上昇
* 降水パターンの変化
* 平均気温上昇
* 生態系脆弱性増加
* 生態系サービスの減少
* 土地資源の不足
* 砂漠化や土壌劣化による土地損失
* 森林火災
* その他の物理的要因(詳述してください)

規制要因:* 製品基準の変更
* 成熟した認証と持続可能性基準の不足
* 土地所有規制の変更
* 土地所有権や占用権に関する不確実性や対立
* 操業許可取得の困難度の上昇
* 国内法の不順守
* 国内法の変更
* 国際法や二国間協定の不順守
* 国際法や二国間協定の変更
* 一時停止措置や自主協定
* 強制力の低い規制
* 規制機関間の調整不足
* 規制の不確実性
* その他の規制要因(詳述してください)
 | 評判および市場要因:* 消費者の嗜好の移り変わり
* 認証を受けた持続可能原材料の費用上昇
* 認証を受けた持続可能原材料の入手可能性
* コモディティ費用上昇
* 製品の原産地や適法性についての不確実性
* 地元地域社会の反対
* ステークホルダーの懸念または否定的なステークホルダーからのフィードバックの増加
* 制裁措置や訴訟問題
* 市場の兆候の不確実性
* 否定的なマスコミ報道
* その他の評判および市場要因(詳述してください)

技術的要因:* 既存の生産地の収量を増加できない
* 土壌保全やその他の持続可能技術の入手機会が限られる
* 耐乾性作物品種の入手機会が限られる
* モニタリングシステムの不足
* その他の技術的要因(詳述してください)
 |

主な影響(列4)

|  |  |
| --- | --- |
| * ブランドダメージ
* 収入割合や収入源の変化
* 成長に対する制約
* 事業撤退
* 株主価値の減少
* 売上の混乱
* 罰金、違約金、または施行令
* 訴訟
* 事業許可の喪失
* 企業資産に対する影響
* 従業員管理および計画の混乱
 | * 保険料上昇
* 「高リスク」の場所にある資産に対する保険の利用可能性低下
* 資本コストの増加
* 法令遵守費用の増加
* 運営費用の増加
* 生産費用の増加
* 生産能力の減少または混乱
* 製品およびサービスの需要減少
* 利用可能な資本の減少
* サプライチェーンの混乱
* その他 (具体的にお答えください)
 |

主な対応(列6)

|  |  |
| --- | --- |
| * 直接操業での環境ベストプラクティスの実施
* 既存の森林関連コミットメントの変更
* 新たな森林減少ゼロ/転用ゼロのコミットメント の策定
* 地域特有の目標設定
* 持続可能に調達した原材料の使用量の増加
* 森林/生態系の復元、改善、補償
* 新しい製品/技術の開発
* 市場拡大
* 規制要件への準拠強化
* 適正評価の強化
* 森林リスク・コモディティのトレーサビィリティ強化
* サプライヤー業績基準の強化
* サプライヤーの多様化
* 森林減少リスクの高い区域からの調達回避
 | * 地域社会との協働
* 顧客との協働
* サプライヤーとの協働
* 複数のステークホルダーイニシアチブとの協働
* 全業界またはマルチステークホルダーの協定への参加
* マーケティングキャンペーン
* ベストプラクティスと啓発の推進
* 金銭的インセンティブを含む持続可能な森林管理の推進
* 金銭的インセンティブを含む認証の推進
* 保全プロジェクト(森林再生、植林、および生態系復元を含む)での自発的な協働
* 景観レベルアプローチの実践
* その他 (具体的にお答えください)
 |

F2 手順

リスクの特定および評価

(F2.1) 貴社は森林関連のリスク評価を実施していますか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい、森林関連リスクを評価している
* いいえ、森林関連リスクを評価していない

(F2.1a) 森林関連リスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択してください。

他質問との関連

この質問は、F2.1の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

SDG

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **バリューチェーン上の段階** | **対象範囲** | **リスク評価手順** | **評価の頻度** | **どの程度の将来のリスクまで考慮しているか** | **リスクの特定と評価に使用したツールと方法** | **説明してください** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 該当するものをすべて選択してください:* 直接操業
* サプライチェーン
* バリューチェーンのその他の部分
* 該当なし
 | 選択肢:* 全部
* 一部
 | 選択肢:* 確立した企業リスク管理フレームワークの一部として評価した
* その他の全社的なリスク評価システムの一部として評価した
* 環境リスク評価で評価した
* 独立した問題として評価した
* その他 (具体的にお答えください)
 | 選択肢:* 半年に1回以上
* 年1回
* 2年に1回
* 特定されていない
 | 選択肢:* 1年以内
* 1～3年
* 3～6年
* 6年超
* 不明
 | 該当するものをすべて選択してください:* 社内的な 手法
* 社外コンサルタント
* グローバルフォレストウォッチ コモディティ(GFWコモディティ)
* 追跡
* ソフトコモディティ森林 リスク・コモディティ評価(SCFA)
* 持続可能性方針 透明性ツールキット(SPOTT)
* グローバルリスク 評価サービス(GRAS)
* 企業向けIBAT
* FSCグローバルフォレスト レジストリ
* Starling
* 国内特有の ツールやデータベース
* 管轄地域/景観評価方法またはツール
* その他 (具体的にお答えください)
* 不明
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

(F2.1b) 貴社の森林関連リスク評価では、以下のうちのどの問題を考慮していますか?

他質問との関連

この質問は、F2.1の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

SDG

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **問題** | **関連性と評価への包摂** | **説明してください** |
| 森林リスク・コモディティの入手可能性 | 選択肢:* 関連性があり、常に評価に含めている
* 関連性があり、時々評価に含めている
* 関連性があるが、評価に含めていない
* 関連性はないが、評価に含めている
* 関連性がない。理由の説明
* 考慮していない
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |
| 森林リスク・コモディティの品質 |  |  |
| 事業活動による生態系や居住環境への影響 |  |  |
| 規制 |  |  |
| 気候変動 |  |  |
| 水セキュリティーへの影響 |  |  |
| 関税または価格上昇 |  |  |
| 市場の喪失 |  |  |
| 森林リスク・コモディティに関連したブランドダメージ |  |  |
| 汚職・不正 |  |  |
| 社会的影響 |  |  |
| その他 (具体的にお答えください) |  |  |

(F2.1c) 貴社の森林関連リスク評価では、以下のうち、どのステークホルダーを考慮にいれていますか？

他質問との関連

この質問は、F2.1の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **ステークホルダー** | **関連性と評価への包摂** | **説明してください** |
| 顧客 | 選択肢:* 関連性があり、常に評価に含めている
* 関連性があり、時々評価に含めている
* 関連性があるが、評価に含めていない
* 関連性はないが、評価に含めている
* 関連性がない。理由の説明
* 考慮していない
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |
| 従業員 |  |  |
| 投資家 |  |  |
| 地域社会 |  |  |
| NGO |  |  |
| 地域レベルのその他の森林リスク・コモディティユーザー/生産者 |  |  |
| 規制当局 |  |  |
| サプライヤー |  |  |
| その他のステークホルダー(詳述してください) |  |  |

(F2.1d) 貴社が森林関連リスク評価を実施していない理由は何ですか?

他質問との関連

この質問は、F2.1の回答で 「いいえ、森林関連リスクを評価していません」 を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **主な理由** | **説明してください** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* 森林関連リスク評価を実施中
* 今後2年以内にリスク評価プロセスを導入する予定
* 重要だが、事業上の差し迫った優先事項でないため
* 重要でないと判断し、理由も説明
* 社内リソースの不足
* 事業活動に関するデータ不足
* 森林リスク・コモディティによる森林減少/森林劣化影響についての知識不足
* 経営陣から指示がないため
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章入力欄 [最大1,500字] |

F3 リスクと機会

リスク

(F3.1) 貴社事業の財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性のある潜在的な森林関連リスクを特定したことがありますか？

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |
| --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **リスクは特定しましたか？** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* はい
* いいえ
 |

(F3.1a)貴社では、事業における財務または戦略面での実質的影響を、どのように定義していますか?

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

これは、5,000文字の制限のある自由回答式の質問です。

 別の文書からオンライン回答システムにコピーする場合、書式設定が保持されないことにご注意ください。

(F3.1b) 回答する森林関連リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクと、そのリスクへの対応の詳細を記載してください。

他質問との関連

この質問は、質問F3.1の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

修正あり

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

回答形式

以下の表に回答を記入してください。読みやすくするために、複数の行に渡って表が表示されます。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **リスクの種類** | **地理的スケール** | **貴社のバリューチェーンのどこでリスク要因が生じますか?** | **主なリスク要因** | **主な潜在的影響** | **企業に特化したリスク内容** | **期間** |
| 選択肢:F3.1で「はい」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* 物理的要因
* 規制要因
* 評判および市場要因
* 技術的要因
 | 選択肢:* 全世界
* 地域
* 国
* 州
* 森林(利権)
* 皮なめし工場
* 食肉処理場
* 農地
* 加工場
* 大農場
* 森林管理単位
 | 該当するものをすべて選択してください:* 直接操業
* サプライチェーン
* バリューチェーンのその他の部分
 | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 文章入力欄 [最大1,500字] | 選択肢:* 現在 - 最大1年
* 1～3年
* 4～6年
* 6年より先
* 不明
 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **潜在的影響の程度** | **可能性** | **財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか？** | **財務上の潜在的影響額(通貨)\*** | **財務上の潜在的影響額–最小(通貨)\*\*** | **財務上の潜在的影響額–最大(通貨)\*\*** |
| 選択肢:* 高い
* やや高い
* 中程度
* 中程度～低い
* 低い
* 不明
 | 選択肢:* ほぼ確実
* 可能性が非常に高い
* 可能性が高い
* 5割を超える確率で
* 可能性がおよそ5割
* 可能性が低い
* 可能性が非常に低い
* 可能性が並外れて低い
* 不明
 | 選択肢:* はい、単一の推計値
* はい、推定範囲
* いいえ、このデータはありません
 | 数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 0～999,999,999,999,999,999の数字を入力] | 数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 | 0～999,999,999,999,999,999の数字を入力]数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **0～999,999,999,999,999,999の数字を入力]財務上の影響についての説明** | **リスクへの主な対応** | **対応の詳細** | **対応の費用** | **対応の費用についての説明** |
| 文章入力欄 [最大1,500字] | 選択肢:* 以下の表の通りの回答ドロップダウン選択肢
 | 文章入力欄 [最大1,500字] | 数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 0～999,999,999,999,999,999の数字を入力] | 文章入力欄 [最大1,500字] |

[回答行を追加]

\*列11(情報提供の可否を問う質問)で「はい、単一の推計値」を選択した場合のみ表示されます。

\*\*列11 (情報提供の可否を問う質問) で「はい、推定範囲」を選択した場合のみ表示されます。

主なリスク要因(列5)

|  |  |
| --- | --- |
| 物理的要因:* 異常気象事象の深刻度の上昇
* 降水パターンの変化
* 平均気温上昇
* 生態系脆弱性増加
* 生態系サービスの減少
* 土地資源の不足
* 砂漠化や土壌劣化による土地損失
* 森林火災
* その他の物理的要因(詳述してください)

規制要因:* 製品基準の変更
* 成熟した認証と持続可能性基準の不足
* 土地所有規制の変更
* 土地所有権や占用権に関する不確実性や対立
* 操業許可取得の困難度の上昇
* 国内法の不順守
* 国内法の変更
* 国際法や二国間協定の不順守
* 国際法や二国間協定の変更
* 一時停止措置や自主協定
* 強制力の低い規制
* 規制機関間の調整不足
* 規制の不確実性
* その他の規制要因(詳述してください)
 | 評判および市場要因:* 消費者の嗜好の移り変わり
* 認証を受けた持続可能原材料の費用上昇
* 認証を受けた持続可能原材料の入手可能性
* コモディティ費用上昇
* 製品の原産地や適法性についての不確実性
* 地元地域社会の反対
* ステークホルダーの懸念または否定的なステークホルダーからのフィードバックの増加
* 制裁措置や訴訟問題
* 市場の兆候の不確実性
* 否定的なマスコミ報道
* その他の評判および市場要因(詳述してください)

技術的要因:* 既存の生産地の収量を増加できない
* 土壌保全やその他の持続可能技術の入手機会が限られる
* 耐乾性作物品種の入手機会が限られる
* モニタリングシステムの不足
* その他の技術的要因(詳述してください)
 |

主な潜在的影響(列6)

|  |  |
| --- | --- |
| * ブランドダメージ
* 収入割合や収入源の変化
* 成長に対する制約
* 事業撤退
* 株主価値の減少
* 売上の混乱
* 罰金、違約金、または施行令
* 訴訟
* 事業許可の喪失
* 企業資産に対する影響
* 従業員管理および計画の混乱
 | * 保険料上昇
* 「高リスク」の場所にある資産に対する保険の利用可能性低下
* 資本コストの増加
* 法令遵守費用の増加
* 運営費用の増加
* 生産費用の増加
* 生産能力の減少または混乱
* 製品およびサービスの需要減少
* 利用可能な資本の減少
* サプライチェーンの混乱
* その他 (具体的にお答えください)
 |

リスクへの主な対応(列16)

|  |  |
| --- | --- |
| * 直接操業での環境ベストプラクティスの実施
* より意欲的な森林関連コミットメント
* 地域特有の目標設定
* 持続可能に調達した原材料の使用量の増加
* 新しい製品/技術の開発
* 市場拡大
* 規制要件への準拠強化
* 適正評価の強化
* 森林リスク・コモディティのトレーサビィリティ強化
* サプライヤー業績基準の強化
* サプライヤーの多様化
* 森林減少リスクの高い区域からの調達回避
 | * 地域社会との協働
* 顧客との協働
* サプライヤーとの協働
* 複数のステークホルダーイニシアチブとの協働
* マーケティングキャンペーン
* ベストプラクティスと啓発の推進
* 金銭的インセンティブを含む持続可能な森林管理の推進
* 金銭的インセンティブを含む認証の推進
* 保全プロジェクト(森林再生、植林、および生態系復元を含む)での自発的な協働
* 景観レベルアプローチの実践
* その他 (具体的にお答えください)
 |

(F3.1c) 財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性のある森林関連リスクにさらされていないと考えない理由を回答してください。

他質問との関連

この質問は、F3.1の回答で「いいえ」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **主な理由** | **説明してください** |
| 選択肢:F3.1で「いいえ」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* リスクはあるが、重大な影響はもたらされないと考えられる。
* 評価中
* まだ評価していない
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

機会

(F3.2) 貴社事業の財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性のある森林関連機会を特定したことがありますか?

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |
| --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **機会を特定したことがありますか?** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* はい
* はい、機会を特定したが、それを実現できない
* いいえ
 |

(F3.2a) 選択した森林関連リスク・コモディティに関して、事業おける財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を回答してください。

他質問との関連

この質問は、F3.2の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

修正あり

他のフレームワークとの関連

SDG

目標15:陸の豊かさを守ろう

回答形式

以下の表に回答を記入してください。読みやすくするために、複数の行に渡って表が表示されます。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **機会の種類** | **バリューチェーンのどこで機会が生じますか?** | **主な森林関連機会** | **金銭的インセンティブ** | **企業に特化した機会の詳細と、機会実現の戦略** | **機会実現までの推定期間** |
| 選択肢:F3.2で「はい」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* 効率性
* レジリエンス
* 市場
* 製品および サービス
* その他
 | 該当するものをすべて選択してください:* 直接操業
* サプライチェーン
* バリューチェーンのその他の部分
 | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 文章記入欄[最大2,400文字] | 選択肢:* 現在～最長1年
* 1～3年
* 4～6年
* 6年より先
* 不明
 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **潜在的影響の程度** | **可能性** | **財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか？** | **財務上の潜在的影響額(通貨)\*** | **財務上の潜在的影響額–最小(通貨)\*\*** | **財務上の潜在的影響額–最大(通貨)\*\*** | **財務上の影響額の説明** |
| 選択肢:* 高度
* やや高い
* 中程度
* 中程度～低い
* 低い
* 不明
 | 選択肢:* ほぼ確実
* 可能性が非常に高い
* 可能性が高い
* 5割を超える確率で
* 可能性がおよそ5割
* 可能性が低い
* 可能性が非常に低い
* 可能性が並外れて低い
* 不明
 | 選択肢:* はい、単一の推計値
* はい、推定範囲
* いいえ、このデータはありません
 | 数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 | 0～999,999,999,999,999,999の数字を入力]数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 | 0～999,999,999,999,999,999の数字を入力]数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 0～999,999,999,999,999,999の数字を入力] | 文章入力欄 [最大1,500字] |

[回答行を追加]

列10(情報提供の可否を問う質問)で「はい、単一の推計値」を選択した場合のみ表示されます。

列10(情報提供の可否を問う質問)で「はい、推定範囲」を選択した場合のみ表示されます。

主な森林関連機会(列4)

|  |  |
| --- | --- |
| 効率性* 経費削減
* 株主価値の向上
* 製造や物流プロセスの効率向上
* 持続可能な農業集約化

レジリエンス* 気候変動適応の向上
* サプライチェーンのレジリエンスの確保
* 規制変更への対応改善
* スタッフ確保の向上
* 顧客教育の向上
* サプライチェーン協働の向上

市場* 持続可能な原材料の需要喚起
* 持続可能なコモディティの市場の能力拡大
* 新市場への展開
* REDD+などの金銭的なインセンティブ
* 地域社会との関係改善
 | 製品およびサービス* ブランド価値の向上
* 生産の安定性の向上
* 透明性の拡大
* 研究開発や技術革新機会の増加

その他* その他 (具体的にお答えください)
 |

金銭的なインセンティブ(列5)\*

|  |  |
| --- | --- |
| * UN REDD+
* 森林基金\*\*
* 地域密着型REDD+
* 法管轄区域REDD+
* 民間REDD+
* より簡単に手ごろにクレジットが入手しやすい
* 気候基金を入手する機会
* グリーン ボンドの発行
 | * 低炭素農業を奨励するインセンティブ
* 環境サービスに対する支払い(REDD+以外)
* バイヤーからの金銭的報酬
* 市場参入のしやすさ
* 持続可能信用状(LC)
* 環境保全見積価格またはCRA\*\*\*
* その他 (具体的にお答えください)
 |

\* 列4(主な森林関連機会)のドロップダウンでの選択内容に応じて表示されます

\*\*製紙・林業セクター企業にのみ表示されます

\*\*\*F1.1の列5で企業が「ブラジル」を選択した場合のみ表示されます

(F3.2b) 貴社が森林関連機会がないと考える理由を記載してください。

他質問との関連

F3.2の回答で「いいえ」または「はい、機会を特定したが、それを実現できない」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **主な理由** | **説明してください** |
| F3.2で「いいえ」を選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* 機会が存在するが、それを実現することができない
* 機会は存在するが、事業に実質的な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるものはない
* 評価中
* 重要でないと判断した
* 機会追求について経営陣から指示がない
* まだ評価していない
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

F4 ガバナンス

方針

(F4.1)貴社には、森林関連問題を考慮した方針がありますか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則A:サプライチェーンにおいて森林減少がなく、他の生態系を守ろうとしている

コア原則B1:先住民と地域社会の権利を尊重する

コア原則1:効果的な実践を推進する企業システムとプロセス

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい、文書化した森林に関する企業方針があり、公開している
* はい、文書化した森林に関する企業方針があるが、公開していない
* いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定
* いいえ

(F4.1a) 貴社の方針の適用範囲と内容について当てはまる選択肢を選択してください。

他質問との関連

この質問は、F4.1の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則A:サプライチェーンにおいて森林減少がなく、他の生態系を守ろうとしている

コア原則B1:先住民と地域社会の権利を尊重する

コア原則1:効果的な実践を推進する企業システムとプロセス

回答形式

以下の表を記入してください:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **適用範囲** | **内容** | **説明してください** |
| 選択肢:* 全社的
* 特定の施設、事業、または地域のみ
* 選択した製品のみ
 | 該当するものをすべて選択してください:* 森林減少および/転用の根絶への コミットメント
* 森林劣化根絶へのコミットメント
* 地域社会の権利と生活を守る コミットメント
* 規制順守にとどまらない、 それ以上のコミットメント
* 透明性に関する コミットメント
* ステークホルダーの啓発と教育に対するコミットメント
* イノベーションに対する コミットメント
* SDGなどの政策イニシアチブと 協調するコミットメント
* 森林とその他の自然生息環境の 全般的な重要性の認識
* 事業が森林に依存していることの 説明
* 森林とその他の自然生息環境に対する 潜在的な事業影響の認識
* 方針の対象にしている森林リスク・コモディティ、 事業の一部、およびバリューチェーンの段階の説明
* 期限を定めたコミットメントと 目標のリスト
* 直接操業における 森林関連実績基準の説明
* 調達における 森林関連基準の説明
* 国際的な規格や 広く認められている森林関連イニシアチブへの言及
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

(F4.1b) 貴社にはコモディティ固有のサステナビリティ方針がありますか？方針がある場合、適用範囲と内容を最もよく表している選択肢を選んでください。

他質問との関連

この質問は、F4.1の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則A:サプライチェーンにおいて森林減少がなく、他の生態系を守ろうとしている

コア原則B1:先住民と地域社会の権利を尊重する

コア原則1:効果的な実践を推進する企業システムとプロセス

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **コモディティ特有の持続可能性方針がありますか?** | **対象範囲** | **内容** | **説明してください** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* はい
* いいえ
 | 選択肢:* 全社的
* 特定の施設、事業、または地域のみ
* 選択した製品のみ
 | 該当するものをすべて選択してください:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

内容(列4)

|  |  |
| --- | --- |
| * 森林減少や転用の根絶へのコミットメント
* 森林劣化根絶へのコミットメント
* 地域社会の権利と生活を守るコミットメント
* 規制順守にとどまらない、それ以上のコミットメント
* 透明性に関するコミットメント
* ステークホルダーの啓発と教育に対するコミットメント
* イノベーションに対するコミットメント
* SDGなどの政策イニシアチブと協調するコミットメント
* 森林とその他の自然生息環境の全般的な重要性の認識
 | * 事業が森林に依存していることの説明
* 森林とその他の自然生息環境に対する潜在的な事業の影響の認識
* 方針の対象となっている森林リスク・コモディティ、事業の一部、およびバリューチェーンの段階の説明
* 期限を定めたコミットメントと目標のリスト
* 直接操業の森林関連実績基準の説明
* 調達の森林関連基準の説明
* 国際的な規格や広く認められている森林関連イニシアチブへの言及
* その他 (具体的にお答えください)
 |

取締役会の監督

(F4.2) 貴社では森林関連問題について取締役会レベルの監督が実施されていますか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則1:効果的な実践を推進する企業システムとプロセス

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい
* いいえ

(F4.2a) 取締役会における森林関連問題の責任者の職位をお答えください (個人の名前は含めないでください)。

他質問との関連

この質問は、F4.2の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則1:

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **個人の職位** | **説明してください** |
| 選択肢:* 取締役会議長
* 取締役
* 最高経営責任者(CEO)
* 最高財務責任者(CFO)
* 最高執行責任者(COO)
* 最高調達責任者(CPO)
* 最高リスク管理責任者(CRO)
* 最高サステナビリティ責任者(CSO)
* その他の経営幹部役員
* 社長
* 取締役会レベルの委員会
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大1,000文字] |

 [回答行を追加]

(F4.2b) 森林関連問題に対する取締役会の監督について、その詳細を記載してください。

他質問との関連

この質問は、F4.2の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則1:効果的な実践を推進する企業システムとプロセス

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林関連問題が定期的に議題として取り上げられる頻度** | **森林関連問題が組み込まれているガバナンスのメカニズム** | **説明してください** |
| 選択肢:* 定期的 - すべての会議
* 定期的 - 一部の会議
* 不定期 - 重要な事案が生じたとき
* その他 (具体的にお答えください)
 | 該当するものをすべて選択してください:* 実施と業績のモニタリング
* 買収と売却の監督
* 大規模な資本支出の監督
* 従業員インセンティブの提供
* 年間予算の審査と指導
* 事業計画の審査と指導
* 企業責任戦略の審査と指導
* 主要な行動計画の審査と指導
* リスク管理方針の審査と指導
* 戦略の審査と指導
* 技術革新/研究開発の優先事項の審査
* 業績目標の設定
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章入力欄 [最大1,500字] |

(F4.2c) 森林関連問題に対して取締役会レベルの監督がない理由、および今後変更する予定について回答してください。

他質問との関連

この質問は、F4.2の回答で「いいえ」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則1:

回答形式

以下の表を記入してください:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **主な理由** | **今後2年以内に森林関連問題に対する取締役会レベルの監督を導入予定** | **説明してください** |
| 文章入力欄 [最大200字] | 選択肢:* はい
* いいえ
 | 文章入力欄 [最大1,500字] |

経営責任

(F4.3) 森林関連問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会をお答えください (個人の名前は含めないでください）。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

SDG

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則1:

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **職位または委員会** | **責任** | **森林関連問題を取締役会に報告する頻度** | **説明してください** |
| 選択肢:* 最高経営責任者(CEO)
* 最高財務責任者(CFO)
* 最高執行責任者(COO)
* 最高調達責任者(CPO)
* 最高リスク管理責任者(CRO)
* 最高サステナビリティ責任者(CSO)
* その他の経営幹部役員、詳述してください
* 社長
* リスク委員会
* サステナビリティ委員会
* 安全、衛生、環境、および品質委員会
* 企業責任委員会
* その他の委員会、詳述してください
* 事業部長
* 購買者
* エネルギー部長
* 環境・安全衛生部長
* 環境/サステナビリティ部長
* 施設長
* 加工部長
* 調達部長
* 広報部長
* リスク管理部長
* 森林関連問題に対して経営層レベルの責任者がいません
* その他 (具体的にお答えください)
 | 選択肢:* 森林関連リスクと機会の評価
* 森林関連リスクと機会の管理
* 森林関連リスクと機会の評価および管理の両方
* その他 (具体的にお答えください)
 | 選択肢:* 四半期に1回以上の頻度で
* 四半期に1回
* 半年に1回
* 年1回
* 年1回より少ない頻度で
* 重要な事案が生じたとき
* 取締役会に報告なし
 | 文章入力欄 [最大1,500字] |

[回答行を追加]

従業員インセンティブ

(F4.4) 森林関連問題の管理に関して、経営幹部または取締役にはインセンティブが用意されていますか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標15:陸の豊かさを守ろう

回答形式

以下の選択肢から選択してください:

* はい
* いいえ、現在は未導入だが、今後2年以内に導入予定
* いいえ、今後2年以内に導入予定もない

(F4.4a) 森林関連問題の管理に関して、役員または取締役にどのようなインセンティブが用意されていますか？(ただし個人の名前は含めないでください)

他質問との関連

この質問は、F4.4の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

若干の変更

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **インセンティブの種類** | **このインセンティブは誰に与えられていますか？** | **インセンティブの対象となるパフォーマンス指標** | **説明してください** |
| 金銭的インセンティブ | 該当するものをすべて選択してください:* 取締役会議長
* 取締役会/執行役員会
* 取締役
* 経営陣
* 最高経営責任者(CEO)
* 最高財務責任者(CFO)
* 最高執行責任者(COO)
* 最高調達責任者(CPO)
* 最高リスク管理責任者(CRO)
* 最高サステナビリティ責任者(CSO)
* 最高購買責任者(CPO)
* その他の経営幹部役員
* その他 (具体的にお答えください)
* このインセンティブを受ける人物はいない
 | 該当するものをすべて選択してください:* コミットメントと目標の達成
* サプライチェーンにおける協働
* その他 (具体的にお答えください)
* インセンティブの対象となる パフォーマンス指標はない
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |
| 表彰(非金銭的) |  |  |  |
| その他の非金銭的褒賞 |  |  |  |

開示

(F4.5) 貴社は、森林関連リスクへの対応に関する情報を直近のメインストリームの財務報告書に含めましたか？

2018年からの変更点

新規質問

回答形式

* はい (任意で報告書を添付していただけます)
* いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定
* いいえ、またその予定もない

F5 事業戦略

戦略的計画

(F5.1) 森林関連問題は、 貴社の長期戦略的事業計画に何らかの形で組み込まれていますか?もしそうであれば、どのように組み込まれていますか?

2018年からの変更点

ガイダンスの修正

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **戦略の側面** | **森林関連問題が組み込まれていますか?** | **長期的な対象期間(年)** | **説明してください** |
| 長期的な事業目標 | 選択肢:* はい、森林関連問題が組み込まれている
* いいえ、森林関連問題について検討したが、戦略的に関連性がある/重要であるとは認識しなかった
* いいえ、森林関連問題をまだ検討していないが、今後2年以内に実施予定
* いいえ、森林関連問題を検討せず、実施予定もない
 | 選択肢:* 5-10
* 11-15
* 16-20
* 21-30
* 30超
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |
| 長期的目標達成のための戦略 |  |  |  |
| 財務計画 |  |  |  |

F6 実践

コミットメント

(F6.1) 貴社は、直接操業および／またはサプライチェーンからの森林減少や森林劣化を削減・排除する公約を掲げていますか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則A:サプライチェーンにおいて森林減少がなく、他の生態系を守ろうとしている

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい
* いいえ

(F6.1a) 貴社は、森林減少および/または森林劣化を削減または排除する公約の一部として、以下のイニシアチブのいずれかを支援しましたか?

他質問との関連

この質問は、F6.1の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則A:サプライチェーンにおいて森林減少がなく、他の生態系を守ろうとしている

コア原則7:対外関係、ステークホルダーの協働、および集団的アクション

回答形式

該当するものをすべて選択してください:

* 森林に関するニューヨーク宣言
* Tropical Forest Alliance 2020 (TFA: 熱帯森林同盟2020)
* We Mean Business
* セラード・マニフェスト
* 大豆モラトリアム
* 家畜協定 (TAC)
* その他 (具体的にお答えください)

(F6.1b) 貴社の公約の詳細を、具体的な基準、対象範囲、アクションの内容を含めて記載してください。

他質問との関連

この質問は、F6.1の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

修正あり

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則A:サプライチェーンにおいて森林減少がなく、他の生態系を守ろうとしている

コア原則B:サプライチェーンにおける人権を尊重する

コア原則C1:対象範囲

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **対象コモディティ** | **基準** | **対象事業範囲** | **生産量/消費量のうちコミットメントの対象となる割合** | **期限** | **期間** | **説明してください** |
| 選択肢:* 木材
* パーム油\*
* 畜牛品\*
* 大豆\*
* その他 - ゴム\*
* その他
 | 該当するものをすべて選択してください:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 選択肢:* 直接操業
* サプライチェーン
* 直接操業とサプライチェーン両方
* 特定の施設、事業、または地域のみ
 | 選択肢:* <1%
* 1～5%
* 6～10%
* 11～20%
* 21～30%
* 31～40%
* 41～50%
* 51～60%
* 61～70%
* 71～80%
* 81～90%
* 91～99%
* 100%
 | 選択肢:* 1987年よりも前
* 1987～1992年
* 1993～1997年
* 1998
* 1999
* 2000
* 2001
* 2002
* 2003
* 2004
* 2005
* 2006
* 2007
* 2008
* 2009
* 2010
* 2011
* 2012
* 2013
* 2014
* 2015
* 2016
* 2017
* 2018
* 該当なし
* 期限なし
 | 選択肢:* 2017年以前
* 2017
* 2018
* 2019
* 2020
* 2021～2025年
* 2026～2030年
* 2030より後
* 期間なし
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

\*製紙・林業セクター企業には表示されません

基準(列2)

|  |  |
| --- | --- |
| 環境的基準* 自然生息環境の変更なし
* グロスでの森林減少ゼロ
* ネットでの森林減少ゼロ
* 土壌劣化ゼロ
* 泥炭地の新規開発なし
* 森林景観復元
* 絶滅危惧および保護されている種や生息環境に対する悪影響の回避
* ワシントン条約での規制対象種の取引なし
* 焼畑または皆伐による土地開墾なし
* 高保護価値 (HCV) 地域の転用なし
* 高炭素貯蔵林の転用なし

社会的基準* 国連グローバル・コンパクトの原則の採用
* 自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)原則の採用
* 世界人権宣言の認識および支持
* 男女共同参画と女性自立の推進
* 国連国際労働機関原則の採用
* オープンで透明性が高い協働プロセスを通じた苦情や対立の解決
* サプライチェーンへの小規模農家の組み入れ促進
 | 法的基準* 違法に生産された、および/または取引された森林リスク・コモディティの調達なし
* 不明もしくは議論を起こしている調達先からの森林リスク・コモディティの調達なし
* 森林リスク・コモディティの調達および（又は）取引は、信頼できる認証を受けた調達先にのみ制限
* その他 (具体的にお答えください)
 |

目標

(F6.2) 回答するコモディティの持続可能な生産量や消費量を増やすため、報告年において有効な数値目標を持っていましたか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則C2:検証可能な行動と期限を定めた目標

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい
* いいえ

(F6.2a) 回答するコモディティの持続可能な生産量や消費量を増やすための目標と、目標達成に向けた進捗の詳細を記載してください。

他質問との関連

この質問は、F6.2の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則C2:検証可能な行動と期限を定めた目標

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の表に 回答を記入してください。読みやすくするために、複数の行に渡って表が表示されます。回答行を追加するには、 表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **目標参照番号** | **森林リスク・コモディティ** | **対象コモディティの形態** | **目標のタイプ** | **対象範囲** | **トレーサビリティポイント\*** | **第三者認証スキーム** |
| 選択肢:* 目標1
* 目標2
* 目標3
* 目標4
* 目標5
* 目標6
* 目標7
* 目標8
* 目標9
* 目標10
* 目標11
* 目標12
* 目標13
* 目標14
* 目標15
* 目標16
* 目標17
* 目標18
* 目標19
* 目標20
 | 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティのリスト | 該当するものをすべて選択してください:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 選択肢:* 第三者認証スキーム
* 持続可能な生産基準
* 持続可能な調達基準
* トレーサビリティ
* その他 (具体的にお答えください)
 | 選択肢:* 直接操業
* サプライチェーン
* 直接操業とサプライチェーン
 | 選択肢:* 国
* 地域
* 州
* 森林
* 皮なめし工場
* 食肉処理場
* 農地
* 加工場
* 粉砕施設
* 大農場
* 森林管理単位
 | 該当するものをすべて選択してください:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **開始年** | **開始時の数値** | **目標年** | **目標** | **達成度 (%)** | **説明してください** |
| [YYYY] | 選択肢:* 0%
* 1～10%
* 11～20%
* 21～30%
* 31～40%
* 41～50%
* 51～60%
* 61～70%
* 71～80%
* 81～90%
* 91～99%
* 100%
* 不明
 | [YYYY] | 選択肢:* <10%
* 11～20%
* 21～30%
* 31～40%
* 41～50%
* 51～60%
* 61～70%
* 71～80%
* 81～90%
* 91～99%
* 100%
 | 選択肢:* 0%
* 1～10%
* 11～20%
* 21～30%
* 31～40%
* 41～50%
* 51～60%
* 61～70%
* 71～80%
* 81～90%
* 91～99%
* 100%
* 不明
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

\*トレーサビィリティポイントのドロップダウンリストは、「目標の種類」列で「トレーサビィリティ」を選択した場合にのみ表示されます

対象コモディティの形態(列3)

|  |  |
| --- | --- |
| 木材:* すべての形態の木材
* 広葉樹丸太
* 針葉樹丸太
* 製材された木材、ベニヤ、チップ
* 未加工木材ファイバー
* パルプ
* 紙
* 板材、合板、加工木材
* 一次梱包材
* 二次梱包材
* 三次梱包材
* セルロースベースの織物繊維
* 木質バイオエネルギー
* 非再販製品(GNFR)

パーム油\*\*:* すべての形態のパーム油
* パーム果実
* 粗パーム油(CPO)
* 粗パーム核油(CPO)
* パーム核粕(PKM)
* 精製パーム油
* パーム油誘導体
* パーム核油誘導体
* パーム由来のバイオディーゼル
 | 畜牛品\*\*:* すべての形態の畜牛品
* 牛
* 牛脂
* 牛肉
* 副産物(例:グリセリン、ゼラチン)
* 皮革
* 牛脂由来のバイオディーゼル

大豆\*\*:* すべての形態の大豆
* 未加工の大豆
* 大豆油
* 大豆粕
* 大豆誘導体
* 大豆由来のバイオディーゼル
* その他 (具体的にお答えください)
 |

\*\*製紙・林業セクター企業には表示されません

第三者認証スキーム(列7)\*\*\*

|  |  |
| --- | --- |
| 木材:* FSC Forest Management certification
* FSC Chain of Custody
* FSC Controlled Wood
* FSC Group certification
* FSC SMLIF (small or low-intensity managed forest)
* FSC Recycled
* PEFC Sustainable Forest Management certification
* PEFC Chain of Custody
* PEFC Project Chain of Custody
* PEFC Group certification
* SFI Forest Management certification
* SFI Chain of Custody
* SFI Fiber Sourcing certification
* RA SmartWood
* RA SmartLogging
* カナダ規格協会(CSA) Z809
* カナダ規格協会(CSA) Z804
* オーストラリア森林規格(AS 4708)
* オーストラリア加工・流通過程の管理規格(AS 4707)
* American Forest Foundation Tree Farm System
* 緑の循環認証会議(SGEC)
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)

パーム油\*\*:* RSPO producer/grower certification
* RSPO Identity Preserved
* RSPO Segregated
* RSPO Mass Balance
* RSPOブックアンドクレーム
* RSPO Next
* International Sustainability and Carbon Certification (ISCC)
* RA Sustainable Agriculture Network (SAN) standard
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)
 | 畜牛品\*\*:* RA SAN Standard for Sustainable Cattle Production Systems
* RA SAN Chain of Custody
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)

大豆\*\*:* RTRS Chain of Custody
* RTRS Standard for Responsible Soy Production
* RTRS certificate trading
* ProTerra certification
* International Sustainability and Carbon Certification (ISCC)
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)
* その他 (具体的にお答えください)
 |

\*\*製紙・林業セクター企業には表示されません

\*\*\*列は、上述の「目標の種類」列で「第三者認証スキーム」を選択した場合にのみ表示されます

(F6.2b) 回答するコモディティの持続可能な生産量および/または消費量を増やす目標がない理由と、将来目標を設定する予定について説明してください。

他質問との関連

この質問は、F6.2の回答で「いいえ」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則C2:検証可能な行動と期限を定めた目標

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **主な理由** | **説明してください** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* 今後2年以内に目標を導入する予定
* 重要だが、事業上の差し迫った優先事項でないため
* 重要でないと判断し、理由も説明
* 社内リソースの不足
* 事業活動に関するデータ不足
* 経営陣から指示がないため
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

トレーサビリティ

(F6.3) 開示するコモディティの原産地を追跡・モニタリングするために導入しているトレーサビィリティシステムがありますか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |
| --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **導入しているシステムはありますか?** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* はい
* いいえ
 |

(F6.3a) 開示したコモディティについての、貴社がお持ちのトレーサビリティのレベルの詳細を示します。

他質問との関連

この質問は、F6.3の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

若干の変更

ガイダンスの修正

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **総生産量/消費量のうちトレーサビリティを確保している割合** | **コモディティのトレーサビィリティを確保できるポイント** | **トレーサビィリティシステムの内容** | **除外対象** | **除外の詳細** |
| 選択肢:F6.3で「はい」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* <1%
* 1～5%
* 6～10%
* 11～20%
* 21～30%
* 31～40%
* 41～50%
* 51～60%
* 61～70%
* 71～80%
* 81～90%
* 91～99%
* 100%
* 不明
 | 選択肢:* 国
* 地域
* 州
* 農地\*
* 繁殖農場††
* 飼育農場††
* 肥育農場††
* 加工場\*\*
* 大農場\*\*
* 森林\*\*
* 森林管理単位\*\*\*
* 粉砕施設†
* 皮なめし工場††
* 食肉処理場††
 | 文章記入欄[最大2,400文字] | 該当するものをすべて選択してください:* 調達先/国/地理的エリア
* 事業活動
* 施設
* 特定の製品ライン
* 特定のサプライヤー
* 該当なし
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

\* 木材には表示されません

\*\* には表示されません

(F6.3b) 回答するコモディティの原産地を追跡し、モニタリングするために導入しているトレーサビリティシステムがない理由と、将来導入する計画について説明してください。

他質問との関連

この質問は、F6.3の回答で「いいえ」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **主な理由** | **説明してください** |
| 選択肢:F6.3で「いいえ」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* 今後2年以内に、森林リスク・コモディティの原産地を追跡し、モニタリングする予定
* 重要だが、事業上の差し迫った優先事項でないため
* 重要でないと判断し、理由も説明
* 社内リソースの不足
* 事業活動に関するデータ不足
* 経営陣から指示がないため
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

認証と持続可能性基準

(F6.4) 回答するコモディティについて第三者認証を受けていますか？対象となる生産量または消費量および比率をお答えください。

2018年からの変更点

修正あり

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

コア原則8:モニタリングと検証

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **認証スキームを指定していますか?** | **認証の対象** | **第三者認証スキーム** | **総生産量/消費量のうち認証を受けた量の割合** |
| 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* はい
* いいえ
 | 選択肢:* 生産量
* 消費量
 | 該当するものをすべて選択してください:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 数値記入欄[0～100の数字を 入力] |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **コモディティの形態** | **認証を受けた生産量/消費量** | **単位** | **説明してください** |
| 該当するものをすべて選択してください:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力] | 選択肢:* トン
* リットル
* ガロン
* 丸太相当量 (RWE)
* 木質原材料相当量 (WRME)
* 立方メートル
* 平方メートル
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

第三者認証スキーム(列4)

|  |  |
| --- | --- |
| 木材:* FSC Forest Management certification
* FSC Chain of Custody
* FSC Controlled Wood
* FSC Group certification
* FSC SMLIF (small or low-intensity managed forest)
* FSC Recycled
* PEFC Sustainable Forest Management certification
* PEFC Chain of Custody
* PEFC Project Chain of Custody
* PEFC Group certification
* SFI Forest Management certification
* SFI Chain of Custody
* SFI Fiber Sourcing certification
* RA SmartWood
* RA SmartLogging
* カナダ規格協会(CSA) Z809
* カナダ規格協会(CSA) Z804
* オーストラリア森林規格(AS 4708)
* オーストラリア加工・流通過程の管理規格(AS 4707)
* American Forest Foundation Tree Farm System
* 緑の循環認証会議(SGEC)
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)

パーム油\*:* RSPO producer/grower certification
* RSPO Identity Preserved
* RSPO Segregated
* RSPO Mass Balance
* RSPOブックアンドクレーム
* RSPO Next
* International Sustainability and Carbon Certification (ISCC)
* RA Sustainable Agriculture Network (SAN) standard
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)
 | 畜牛品\*:* RA SAN Standard for Sustainable Cattle Production Systems
* RA SAN Chain of Custody
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)

大豆\*:* RTRS Chain of Custody
* RTRS Standard for Responsible Soy Production
* RTRS certificate trading
* ProTerra certification
* International Sustainability and Carbon Certification (ISCC)
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)
* その他 (具体的にお答えください)
 |

\*製紙・林業セクター企業には表示されません

対象コモディティの形態(列6)

|  |  |
| --- | --- |
| 木材:* 広葉樹丸太
* 針葉樹丸太
* 製材された木材、ベニヤ、チップ
* 未加工木材ファイバー
* パルプ
* 紙
* 板材、合板、加工木材
* 一次梱包材
* 二次梱包材
* 三次梱包材
* セルロースベースの織物繊維
* 木質バイオエネルギー
* 非再販製品(GNFR)

パーム油\*:* パーム油の果実
* 粗パーム油(CPO)
* 粗パーム核油(CPO)
* パーム核粕(PKM)
* 精製パーム油
* パーム油誘導体
* パーム核油誘導体
* パーム由来のバイオディーゼル
 | 畜牛品\*:* 牛
* 牛脂
* 牛肉
* 副産物(例:グリセリン、ゼラチン)
* 皮革
* 牛脂由来のバイオディーゼル

大豆\*:* 未加工の大豆
* 大豆油
* 大豆粕
* 大豆誘導体
* 大豆由来のバイオディーゼル
* その他 (具体的にお答えください)
 |

\*製紙・林業セクター企業には表示されません

(F6.5) 回答するコモディティに関して、第三者認証以外で持続可能な生産/調達基準を指定していますか?対象となる生産量/消費量の割合と、サプライヤーがこれらの基準に準拠しているかのモニタリングの有無を示します。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

コア原則8:モニタリングと検証

回答形式

以下の表に回答を記入してください。読みやすくするために、複数の行に渡って表が表示されます。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **持続可能性基準を指定していますか?** | **基準の種類** | **基準の詳細** | **基準の対象となるコモディティ総量の割合** |
| 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 選択肢:* はい
* いいえ
* 第三者認証以外の基準なし
 | 選択肢:* 生産\*
* 調達\*\*
 | 文章記入欄[最大2,400文字] | 選択肢:* <10%
* 10～20%
* 21～30%
* 31～40%
* 41～50%
* 51～60%
* 61～70%
* 71～80%
* 81～90%
* 91～99%
* 100%
* 不明
 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **この基準への準拠をモニタリングするシステムを導入していますか?** | **モニタリングシステムの種類\*\*\*** | **基準に準拠しているサプライヤーの割合†** | **説明してください** |
| 選択肢:* はい
* いいえ
 | 該当するものをすべて選択してください:* 地理情報システム(GIS)
* 地上ベースのモニタリングシステム
* 空中モニタリングシステム
* 第一者監査
* 第二者監査
* 第三者監査
* その他 (具体的にお答えください)
 | 選択肢:* <10%
* 10～20%
* 21～30%
* 31～40%
* 41～50%
* 51～60%
* 61～70%
* 71～80%
* 81～90%
* 91～99%
* 100%
* 不明
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

\* 質問F0.4で[生産]を選択した場合にのみ表示されます。

\*\* 質問F0.4で[加工]、[取引]、[製造]、または[販売]を選択した場合にのみ表示されます。

\*\*\* 列6[...システムを導入していますか?]で「はい」を選択した場合のみ、列が表示されます。

† 列3[基準の種類]で[調達]を選択した場合のみ、列が表示されます。

協働

(F6.6) 森林伐採/森林劣化の削減または排除を目標とするベストプラクティスを奨励および支援するために小規模農家と協働していますか?

他質問との関連

F0.4の回答で「生産」、「加工」、および/または「取引」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

2018年からの変更点

修正あり

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則3:サプライチェーンコンプライアンスのための管理

コア原則7:対外関係、ステークホルダーの協働、および集団的アクション

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **小規模農家と協働していますか?** | **小規模農家との協働の方法\*** | **説明してください** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* はい、小規模農家と協働している
* いいえ、小規模農家とは協働していない
* 該当なし
 | 該当するものをすべて選択してください:* 生産者への直接トレーニング の提供
* 地方機関との協働
* 農業投入物の提供
* 金銭的インセンティブの提供
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

\* 列2[小規模農家と協働していますか?]で[はい、小規模農家と協働している]を選択した場合のみ、列が表示されます

(F6.7) 一次サプライヤーと協働して持続可能な原材料供給力を支援したり改善していますか?

他質問との関連

F0.4の回答で「加工」、「取引」、「製造」、および/または「販売」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則3:サプライチェーンコンプライアンスのための管理

コア原則7:対外関係、ステークホルダーの協働、および集団的アクション

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **一次サプライヤーとの協働の有無** | **サプライヤーとの協働の手法** | **説明してください** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* はい、一次サプライヤーと協働している
* いいえ、一次サプライヤーと協働していない
* 該当なし
 | 該当するものをすべて選択してください:* サプライチェーンマッピングツールの開発や配布
* 集中データベースへのデータ収集
* 認証取得の促進
* マルチステークホルダーグループとの協働を促進
* 環境・社会指標に関するサプライヤーへのアンケート
* ワークショップ、トレーニング
* サプライヤー監査
* サプライヤー権利
* 契約上の取り決め
* 共同プロジェクト
* 財政的支援
* 技術的支援
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

(F6.8) 森林関連リスクの管理および緩和のために一次サプライヤーを超えて協働していますか?

他質問との関連

F0.4の回答で「製造」および/または「販売」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則3:サプライチェーンコンプライアンスのための管理

コア原則7:対外関係、ステークホルダーの協働、および集団的アクション

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **一次サプライヤーを超えて協働していますか?** | **説明してください** |
| F0.5で選択した森林リスク・コモディティから自動入力 | 選択肢:* はい、一次サプライヤーを超えて協働している
* いいえ、一次サプライヤーを超えては協働していない
* 該当なし
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

(F6.9) 回答するコモディティの持続可能性に関する方針の実行を促進するために、社外のイニシアチブまたは活動に参加していますか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

AFi

コア原則7:対外関係、ステークホルダーの協働、および集団的アクション

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **活動/イニシアチブに参加していますか?** | **活動** | **イニシアチブ\*** | **説明してください** |
| 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティのリスト | 選択肢:* はい
* いいえ
 | 選択肢:* マルチパートナーシップまたはステークホルダーイニシアチブに参加した
* 政策担当者や政府と協働している
* 業界プラットフォームに参加している
* コミュニティと協働している
* 非政府組織と協働している
* 調査機関への出資を通して
* その他 (具体的にお答えください)
 | 該当するものをすべて選択してください:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

\* 前の列で「マルチパートナーシップまたはステークホルダーイニシアチブに参加した」を選択した場合にのみ表示。

イニシアチブ(列4)

|  |  |
| --- | --- |
| 全般* UN Global Compact
* Tropical Forest Alliance 2020 (TFA: 熱帯森林同盟2020)
* Natural Capital at Risk
* The Consumer Good Forum (CGF)
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)
* その他 (具体的にお答えください)

木材* FSC
* PEFC
* Sustainable Forestry Initiative (SFI)
* EU Sustainable Tropical Timber Coalition (STTC)
* WBCSD Forests Solutions Group

パーム油\*\** Roundtable on Sustainable Palm Oil (RSPO)
* Palm Oil Innovation Group (POIG)
* High Carbon Stock Approach Steering Group
* International Sustainability & Carbon Certification (ISCC)
* Forum for Sustainable Palm Oil (FONAP)
 | 畜牛品\*\** Global Roundtable for Sustainable Beef (GRSB)
* Brazilian Roundtable on Sustainable Livestock (GTPS)
* Sustainable Agriculture Initiative (SAI)
* Sustainable Apparel Coalition (SAC)

大豆\*\** Roundtable on Sustainable Soy (RTRS)
* Sustainable Agricultural Initiative (SAI)
 |

\*\*製紙・林業セクター企業には表示されません

F7 相関とトレードオフ

相関とトレードオフ

(F7.1) 接操業および/またはバリューチェーンのその他の部分において、森林とその他環境問題の間の相関やトレードオフを特定していますか?

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい
* いいえ

(F7.1a) 相関やトレードオフ、及び関連方針や行動について記載してください。

他質問との関連

F7.1の回答で「はい」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

SDG

目標6:安全な水とトイレを世界中に

目標12:つくる責任つかう責任

目標13:気候変動に具体的な対策を

目標15:陸の豊かさを守ろう

回答形式

以下の表に 回答を記入してください。回答行を追加するには、 表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **相関/トレードオフ** | **相関/トレードオフの種類** | **相関/トレードオフの詳細** | **方針または対応策** |
| 選択肢:* 相関
* トレードオフ
 | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 文章入力欄 [最大1,000字] | 文章入力欄 [最大1,500字] |

[回答行を追加]

相関/トレードオフの種類(列2)

|  |  |
| --- | --- |
| 相関* 温室効果ガス排出量減少
* 炭素隔離増加
* 災害リスク削減
* 土壌保全
* 水の供給量改善
* 水質改善
* 水流量規制
* その他の相関(詳述してください)
 | トレードオフ* 温室効果ガス排出量増加
* 水の供給量減少
* 水質低下
* 地下水涵養減少
* 土壌劣化
* その他のトレードオフ(詳述してください)
 |

(F7.1b) 貴社が森林とその他の環境問題との間の相関やトレードオフを特定していない理由を回答してください。

他質問との関連

F7.1の回答で「いいえ」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |
| --- | --- |
| **主な理由** | **コメント** |
| 選択肢:* 検討したが、特定されなかった
* 検討していないが、今後2年以内に特定する予定
* 重要だが、事業上の差し迫った優先事項でないため
* 重要でないと判断し、理由も説明
* 社内リソースの不足
* 事業活動に関するデータ不足
* 経営陣から指示がないため
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章入力欄 [最大500字] |

F8 検証

検証

(F8.1) CDPへの回答で報告した森林関連情報の第三者検証を受けていますか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則8:モニタリングと検証

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい
* 実施中
* いいえ、しかし今後2年以内に検証することを積極的に検討中
* いいえ、より成熟度の高い検証基準/プロセスを待っている
* いいえ、CDPで報告した森林関連情報は検証していない。そして、検証する予定もない。

(F8.1a) 貴社のCDP回答の中ではどのデータポイントの検証を受けましたか?また、どのような検証基準を使用しましたか?

他質問との関連

F8.1の回答で「はい」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則8:モニタリングと検証

回答形式

以下の表に 回答を記入してください。回答行を追加するには、 表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **開示モジュール** | **検証されたデータポイント** | **検証基準** | **説明してください** |
| 選択肢:* F0.イントロダクション
* F1. 現在の状況
* F2.手順
* F3.リスクと機会
* F4.ガバナンス
* F5.戦略
* F6.実践
* SF.サプライチェーンモジュール
* その他 (詳述してください)
 | 文章記入欄[最大1,000文字] | 文章記入欄[最大1,000文字] | 文章入力欄 [最大2,000字] |

[回答行を追加]

F9 障壁と課題

障害と課題

(F9.1) 直接操業やバリューチェーンのその他の部分において、森林関連リスクを回避する際に直面する主な障壁や課題を記載してください。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **対象範囲** | **主な障壁/課題の種類** | **コメント** |
| 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト | 該当するものをすべて選択してください:* 直接操業
* サプライチェーン
* バリューチェーン上のその他の部分
 | 選択肢:* サプライチェーンの複雑さ
* 認証を受けた原材料の入手が限定的
* 認証を受けた原材料に接する機会が限られている
* 一般の認知度や市場の需要が限られている
* 認証基準が存在しないか未成熟
* 認証費用や認証要件の複雑さ
* 持続可能に製造・認定された製品の費用
* サプライチェーン協働が限られている
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

 [回答行を追加]

(F9.2) 貴社の森林関連リスクの管理能力を向上させると考えられる主な方策を記載してください。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **森林リスク・コモディティ** | **対象範囲** | **主な方策** | **コメント** |
| 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティのリスト | 該当するものをすべて選択してください:* 直接操業
* サプライチェーン
* バリューチェーンのその他の部分
 | 選択肢:* データ収集およびデータ品質の改善
* 透明性向上
* サプライヤーの認識/協働の向上
* 顧客の認識向上
* 認証製品に対する需要増
* ステークホルダーとの協働や協力拡大
* コモディティによって引き起こされる森林減少や森林劣化に関する知識向上
* モニタリング システムやトレーサビリティ システムへの投資
* 持続可能な原材料の生産に対するインセンティブ
* 認証を受けた原材料の費用削減
* 認証費用削減
* 認証と持続可能性基準の開発
* 強制力の高い規制
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

[回答行を追加]

F18 最終承認

詳細情報

(F-FI) この欄を使用して、貴社の回答に関連する追加情報を記入します。この欄は任意で、採点されないことにご注意ください。

回答形式

これは、9,999文字の制限のある自由回答式の質問です。

別の文書から開示プラットフォームにコピーする場合、書式設定は保持されません。

注記

* [ファイルアップロード]ボタン(クリップアイコン)をクリックして、添付したいファイルをドラッグ・アンド・ドロップします。

最終承認

(F18.1) CDPフォレスト質問書への貴社の回答の最終承認者について、以下の情報をお答えください。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |
| --- | --- |
| **役職** | **職種** |
| 文章入力欄[最大200字] | 選択肢:* 取締役会議長
* 取締役会/執行役員会
* 取締役
* 最高経営責任者(CEO)
* 最高財務責任者(CFO)
* 最高執行責任者(COO)
* 最高調達責任者(CPO)
* 最高リスク管理責任者(CRO)
* 最高サステナビリティ責任者(CSO)
* その他の経営幹部役員
* 社長
* 事業部長
* エネルギー部長
* 環境・安全衛生部長
* 環境/サステナビリティ部長
* 施設長
* 加工部長
* 調達部長
* 広報部長
* リスク管理部長
* その他 (具体的にお答えください)
 |

SFサプライチェーン

サプライチェーンのイントロダクション

(SF0.1) 報告年の貴社の年間売上はいくらですか?

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |
| --- |
| **年間売上** |
| 数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 0～999,999,999,999,999,999の数字を入力] |

(SF0.2) CDPと共有できる御社のISINコードはありますか?

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい
* いいえ

(SF0.2a) 下記表でISINコードを共有してください。

他質問との関連

この質問は、SF0.2の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

回答形式

以下の表に回答を記入してください:

|  |  |
| --- | --- |
| **ISIN 国別コード** | **ISIN コード（1桁のチェックディジットを含む）** |
| 文章入力欄 [最大2文字] | 文章入力欄 [小数点を用いずに最大10文字] |

販売認証量

F6.4で次の質問について回答いただきました。「回答するコモディティについて第三者認証を受けていますか？対象となる生産量または消費量および比率をお答えください。」 回答するコモディティごとに、回答要請を行っているCDPサプライチェーンメンバーそれぞれに販売した認証量の割合 (%) を回答できますか。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

コア原則8:モニタリングと検証

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい
* 一部
* 不明
* いいえ
* 回答要請メンバーは、森林リスク・コモディティを含む商品やサービスを弊社から購入していない

(SF1.1a) 貴社に回答要請した各CDPサプライチェーンメンバーについて、回答するコモディティの販売認証量の割合を示してください。

他質問との関連

SF1.1の回答で「はい」または「一部」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

コア原則8:モニタリングと検証

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **回答要請メンバー** | **森林リスク・コモディティ** | **コモディティの形態** | **第三者認証スキーム** | **メンバーに販売したコモディティの総量** | **単位** | **列5で回答した量のうち、何%が認証を受けていますか?** | **コメント** |
| 選択肢:[メンバーのCRMリスト] | 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティのリスト | 該当するものをすべて選択してください:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 0～999,999,999,999の数字を入力] | 選択肢:* トン
* 支出額
* リットル
* ガロン
* 丸太相当量 (RWE)
* 木質原材料相当量 (WRME)
* 立方メートル
* 平方メートル
* その他 (具体的にお答えください)
 | 選択肢:* <10%
* 10～20%
* 21～30%
* 31～40%
* 41～50%
* 51～60%
* 61～70%
* 71～80%
* 81～90%
* 91～99%
* 100%
 | 文章記入欄[最大1,000文字] |

[回答行を追加]

コモディティの形態(列3)

|  |  |
| --- | --- |
| 木材:* 広葉樹丸太
* 針葉樹丸太
* 製材された木材、ベニヤ、チップ
* 未加工木材ファイバー
* パルプ
* 紙
* 板材、合板、加工木材
* 一次梱包材
* 二次梱包材
* 三次梱包材
* セルロースベースの織物繊維
* 木質バイオエネルギー
* 非再販製品(GNFR)

パーム油:* パーム油の果実
* 粗パーム油(CPO)
* 粗パーム核油(CPO)
* パーム核粕(PKM)
* 精製パーム油
* パーム油誘導体
* パーム核油誘導体
* パーム由来のバイオディーゼル
 | 畜牛品:* 牛
* 牛脂
* 牛肉
* 副産物(例:グリセリン、ゼラチン)
* 皮革
* 牛脂由来のバイオディーゼル

大豆:* 未加工の大豆
* 大豆油
* 大豆粕
* 大豆誘導体
* 大豆由来のバイオディーゼル
* その他 (具体的にお答えください)
 |

第三者認証スキーム(列4)

|  |  |
| --- | --- |
| 木材:* FSC Forest Management certification
* FSC Chain of Custody
* FSC Controlled Wood
* FSC Group certification
* FSC SMLIF (small or low-intensity managed forest)
* FSC Recycled
* PEFC Sustainable Forest Management certification
* PEFC Chain of Custody
* PEFC Project Chain of Custody
* PEFC Group certification
* SFI Forest Management certification
* SFI Chain of Custody
* SFI Fiber Sourcing certification
* RA SmartWood
* RA SmartLogging
* カナダ規格協会(CSA) Z809
* カナダ規格協会(CSA) Z804
* オーストラリア森林規格(AS 4708)
* オーストラリア加工・流通過程の管理規格(AS 4707)
* American Forest Foundation Tree Farm System
* 緑の循環認証会議(SGEC)
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)

パーム油:* RSPO producer/grower certification
* RSPO Identity Preserved
* RSPO Segregated
* RSPO Mass Balance
* RSPOブックアンドクレーム
* RSPO Next
* International Sustainability and Carbon Certification (ISCC)
* RA Sustainable Agriculture Network (SAN) standard
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)
 | 畜牛品:* RA SAN Standard for Sustainable Cattle Production Systems
* RA SAN Chain of Custody
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)

大豆:* RTRS Chain of Custody
* RTRS Standard for Responsible Soy Production
* RTRS certificate trading
* ProTerra certification
* International Sustainability and Carbon Certification (ISCC)
* Roundtable on Sustainable Biomaterials (RSB)
* その他 (具体的にお答えください)
 |

(SF1.1b) 回答要請した各CDPサプライチェーンメンバーに販売した認証量の割合を示すことができない理由は何ですか?CDPサプライチェーンメンバーに対して、認証のレベルを導入しする今後の計画を記述します。

他質問との関連

SF1.1の回答で「いいえ」、「不明」または「一部」を選択した場合にのみ、この質問が表示されます。

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則2:リスク評価、サプライチェーンマッピング、およびトレーサビリティ

コア原則8:モニタリングと検証

コア原則9:報告、情報開示、および主張

回答形式

以下の表に回答を記入してください。回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **回答要請メンバー** | **森林リスク・コモディティ** | **主な理由** | **説明してください** |
| 選択肢:[メンバーのCRMリスト] | 選択肢:F0.5で選択した森林リスク・コモディティのリスト | 選択肢:* 関連コモディティの認証を実施中
* 今後2年以内に認証を導入する予定で、その時までにこの情報を提供できる見込み
* データ収集のためのリソースが不足
* 過去に認証レベルの追跡に関する顧客からの要請はなかった
* 認証のレベルが企業レベルで記録されていない
* 回答メンバーへの販売内容に関するデータ不足
* 重要でないと判断した
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] |

 [回答行を追加]

協働の機会

(SF2.1) 特定のCDPサプライチェーンメンバーに関して協働できる 双方にとって有益な森林関連プロジェクトを提案してください。

2018年からの変更点

若干の変更

回答形式

以下の表に 回答を記入してください。回答行を追加するには、 表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **回答要請メンバー** | **プロジェクトに関連するコモディティ** | **プロジェクトのカテゴリー** | **プロジェクトの種類** | **顧客が利益を得られるまでの推定期間** | **プロジェクトの詳細** | **予測される成果** |
| 選択肢:[サプライチェーンメンバーのCRMリスト] | 選択肢:F0.5から作成されたリスト | 選択肢:* 認証
* コミュニケーション
* 商品およびサービスの提供
* 技術革新
* 関係の持続可能性評価
* トレーサビィリティおよび透明性
* その他のカテゴリー(詳述してください)
 | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 選択肢:* 現在～最長1年
* 1～3年
* 4～6年
* 6年超
* 不明
* その他 (具体的にお答えください)
 | 文章記入欄[最大2,400文字] | 文章入力欄 [最大2,400字] |

プロジェクトの種類(列4)

|  |  |
| --- | --- |
| 認証* 認定を受けたコモディティの対象範囲拡大
* その他の認証プロジェクト(詳述してください)

トレーサビィリティおよび透明性* 既存のトレーサビィリティシステムの改善
* 新しいトレーサビリティシステム
* その他のトレーサビィリティおよび透明性(詳述してください)

技術革新* 顧客の製品/サービスのコモディティ消費量を削減する新しい製品またはサービス
* 森林に対する上流の影響を削減する新しい製品またはサービス
* 持続可能な生産を確実にするための新しい手法/技術の導入
* その他の種類の技術革新プロジェクト(詳述してください)
 | 関係の持続可能性評価* 効率を確認するための製品またはサービスのライフサイクルの評価
* 顧客の目標と意欲をくみ取った目標の調整
* その他の関係の持続可能性評価プロジェクト(詳述してください)

商品およびサービスの提供* 包装削減
* その他の商品およびサービスの提供プロジェクト(詳述してください)

コミュニケーション* 受賞 – 外部の賞を共同で目指す
* 共同事例研究またはマーケティングキャンペーン
* その他のコミュニケーションプロジェクト(詳述してください)

その他のカテゴリー:* その他(詳述してください)
 |

(SF2.2) CDPサプライチェーンメンバーによる要請またはイニシアチブによって、 貴社の操業またはサプライチェーンからの森林減少/森林劣化を削減・排除するような全社レベルでの活動が 促進されましたか?

2018年からの変更点

変化なし

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則3:サプライチェーンコンプライアンスのための管理

コア原則7:対外関係、ステークホルダーの協働、および集団的アクション

回答形式

以下の選択肢から1つ選択してください:

* はい
* いいえ

(SF2.2a) 貴社の直接操業またはサプライチェーンからの森林減少/森林劣化を削減または排除する組織レベルの行動を推進したCDPサプライチェーンの回答メンバーを詳述し、その方法の詳細を回答してください。

他質問との関連

この質問は、SF2.2の回答で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。

2018年からの変更点

若干の変更

他のフレームワークとの関連

AFi

コア原則3:サプライチェーンコンプライアンスのための管理

コア原則7:対外関係、ステークホルダーの協働、および集団的アクション

回答形式

以下の表に 回答を記入してください。回答行を追加するには、 表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **回答要請メンバー** | **プロジェクトのカテゴリー** | **プロジェクトの種類** | **プロジェクト/イニシアチブの内容** | **イニシアチブ成功の指標を示してください** | **CDPサプライチェーンメンバーがその外部コミュニケーションでこの取組みについて言及しても構いませんか?** |
| 選択肢:[メンバーのCRMリスト] | 選択肢:* 認証
* コミュニケーション
* 商品およびサービスの提供
* 技術革新
* 関係の持続可能性評価
* トレーサビィリティおよび透明性
* 方針およびコミットメント
* その他のカテゴリー(詳述してください)
 | 選択肢:* 表の下に示されているドロップダウンリスト
 | 文章記入欄[最大2,400文字] | 文章入力欄 [最大1,500字] | 選択肢:* はい
* いいえ
 |

[回答行を追加]

プロジェクトの種類(列3)

|  |  |
| --- | --- |
| 認証* 認定を受けたコモディティの対象範囲拡大
* その他の認証プロジェクト(詳述してください)

トレーサビィリティおよび透明性* 既存のトレーサビィリティシステムの改善
* 新しいトレーサビリティシステム
* その他のトレーサビィリティおよび透明性(詳述してください)

技術革新* 顧客の製品/サービスのコモディティ消費量を削減する新しい製品またはサービス
* 森林に対する上流の影響を削減する新しい製品またはサービス
* 持続可能な生産を確実にするための新しい手法/技術の導入
* その他の種類の技術革新プロジェクト(詳述してください)
 | 関係の持続可能性評価* 効率を確認するための製品またはサービスのライフサイクルの評価
* 顧客の目標と意欲をくみ取った目標の調整
* その他の関係の持続可能性評価プロジェクト(詳述してください)

商品およびサービスの提供* 包装削減
* その他の商品およびサービスの提供プロジェクト(詳述してください)

コミュニケーション* 受賞 – 外部の賞を共同で目指す
* 共同事例研究またはマーケティングキャンペーン
* その他のコミュニケーションプロジェクト(詳述してください)

方針およびコミットメント* 公にする方針の設定
* コミットメントを策定
* 他の方針およびコミットメント(詳述してください)

その他のカテゴリー:* その他 (具体的にお答えください)
 |

重要情報

**企業は、CDPへの回答を規制要件に従う手段と誤解し、財務的に慎重に扱うべき非公開情報を市場と共有することのないよう注意してください。**

**CDP質問書の著作権について**

**CDPの年次質問書の著作権は、英国の登録チャリティ（No.1122330）であり、イングランドの有限保証責任会社（No.05013650）であるCDP Worldwideが有しています。質問を含み、質問書のいかなる部分のいかなる利用も、CDPの許可が必要です。無許可での使用は禁じられており、CDPは著作権保護のためにあらゆる法的措置をとる権利を有しています。**

投資家質問書(フォレスト2018)の回答に関する諸条件

**投資家向けCDPフォレスト質問書2018に回答した場合は、これらの諸条件が適用されます。サプライチェーンメンバーにも提出する場合、下記のサプライチェーンメンバー(フォレスト2018)への回答に関する諸条件も適用されます。**

1. 定義

**請求書送付企業**: 本諸条件の最後にある表に従い決定される組織を意味します。

**CDP**:Charity Commission of England and Walesに登録された公益法人、CDP Worldwideを意味します （チャリティ登録番号 1122330、会社登録番号 05013650）。本諸条件における“ **当社(we)**”、“**当社 (our)**”、“**当社 (us)**”は、CDPおよび請求書送付企業を指します。

**期限**: 2018年7月31日を意味します。

**費用**: 本諸条件の最後にある表に記載されている費用を意味し、適用される税金は含みません。

**個人情報**: 氏名や職位等、当データから特定可能な個人の情報を意味します。

**質問書:** CDPフォレスト質問書2018を意味します。

**回答企業:** 質問書に回答する企業を意味します。本諸条件における “**貴社(you)**” および “**貴社の(your)**”は、回答企業を指します。

2. 当事者

本緒条件の当事者はCDP、請求書送付企業 （請求書送付企業がCDPでない場合）、および回答企業とします。

3. 本諸条件

投資家要請質問書の回答を提出する時に適用される諸条件です。本諸条件に同意されない場合は、respond@cdp.net までご連絡のうえご相談ください。

4.質問書に対する回答

**全般** 質問書へのご回答にあたっては、回答内容を公表するか、非公表にするかを選択できます。CDPでは、ご回答内容を公表するよう強く推奨しております。

**回答期限**。 貴社の回答が採点され何らかの報告書に包摂されるには、当社オンライン回答システムを使って期限までに回答を提出する必要があります。

**回答の公表。** 回答を公表することに同意した場合、当社が決定するあらゆる目的のために利用できることとします （有償無償を問わず）。例えば、回答を当社のWEBサイトで署名投資家やその他の第三者が利用できるようにすること、そして、回答を評価すること（評価を公表することを含む）を含みます。

**回答の非公表**。 貴社の回答が非公表である場合は、当社は以下に限ってこれを利用できます。

(a) CDPによる受領後速やかに、貴社の回答を署名投資家（CDPウェブサイトにリストを記載）に対して、直接的またはBloombergのターミナルを通じて、署名投資家の組織内での利用を可能にする。ただし、回答内容のデータが匿名化または匿名化の効果をもつ方法で集計化されていない限り公表しないことを条件とする。

(b) CDPによる受領後速やかに、貴社の回答を当社グループ企業および関連会社（例えば、CDP North America, Inc）、当社の国別パートナー、調査パートナー、報告書執筆者、および採点パートナーに対して、以下を目的に利用可能にする。

(i) 貴社の回答の採点および採点結果の公表、および

(ii) 組織内での利用。ただし、回答内容のデータが匿名化または匿名化の効果をもつ方法で集計化されていない限り公表しないことを条件とする。

**回答の修正。** 回答は、いったん提出した後でも、期限前であればいつでも修正できます。期限後は、貴社の回答を修正できるのはCDPスタッフのみであり、費用が発生する場合もあります。期限後の回答の修正は、評価や報告書に反映されない場合がありますのでご注意ください。

**回答の評価。** CDPのオンライン回答システムで期限内に提出すると、回答への評価が行われます。期限後であっても2018年10月1日までに回答を提出すれば、有料でオンデマンド評価を請求することが可能です。詳細については、scorefeedback@cdp.netに電子メールをお送りください。

5. 費用

**費用。** 当社は非営利団体であり、情報開示システムの維持を目的として一定の企業に年間管理費用を請求します。費用の支払いを免除されていない限り（下記に定める通り）、貴社が以下に記載される国で上場、法人化、または本社設立している場合は、当該費用と適用税を支払う必要があります。費用は、2018年に貴社が提出する回答（気候変動、森林、水安全保障）の数に関わらず、一回のみお支払ください。貴社が、すでに提出した回答について回答期限後に変更を求める場合、または、期限後に回答を提出し、その採点を希望する場合は、当社は追加費用の請求が可能ですのでご注意ください。

**費用が適用される国。** 回答企業は、以下の国のいずれかで上場、法人化、または本社設立している場合に、費用の支払いを求められます。

アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、バハマ、ベルギー、バミューダ、ブラジル、カナダ、ケイマン諸島、チャンネル諸島、チリ、コロンビア、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、香港、アイスランド、インド、インドネシア、アイルランド、イタリア、日本、ルクセンブルグ、マレーシア、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ペルー、フィリピン、ポルトガル、シンガポール、南アフリカ、韓国、スペイン、スウェーデン、スイス、台湾、タイ、トルコ、英国、または米国。

**費用の免除。** 回答企業は、次の場合に費用の支払いを免除されます。

(a) CDPの投資家サンプルの一つに含まれ、かつ、過去3年間にCDPに回答を提出していない場合、または、

(b) CDPのサプライチェーン質問書にのみ回答している場合。

費用支払いの必要性については、CDPの裁量で判断し、貴社の回答提出前に通知しますのでご注意ください。当社の投資家サンプルにある企業全社のリストは、当社ウェブサイトで確認できます。

**費用の支払い。** 費用はクレジットカードまたはデビットカードで支払うか、または、CDPのオンライン企業ダッシュボードを通じて請求書を依頼し、当該請求書に記載のとおりに期限内に支払う必要があります。費用を支払い済み、請求書を依頼済み、または費用の支払いが免除されている場合を除いて、回答を提出することはできませんのでご注意ください。

6．回答上の権利

**所有権。** 貴社の回答の知的財産権はすべて、貴社または貴社のライセンサーが所有します。

**ライセンス。** 貴社は、CDPが本諸条件にもとづく用途のために貴社の回答および貴社の回答の一切の著作権およびデータベース権を使用するための無制限、取消不能、非排他的、譲渡可能、再許諾可能、ロイヤリティーフリー、およびグローバルなライセンスをCDPに授与、またはCDPのために入手しなければなりません。

7. 重要な表明

貴社は以下について確認します。

(a) CDPへの回答提出者は、貴社より回答提出許可を得た者であること、

(b) CDPに回答を提出するうえで必要な同意と許可をすべて取得済みであること、および、

(c) 貴社が提出する回答は、

(i) いかなる第三者の権利（プライバシー権、パブリシｰ権、または知的財産権を含む）を侵害することはない、

(ii) いかなる第三者を中傷することはない、および

(iii) いかなる個人情報も含まない。

8. 法的責任

**CDPは、CDPの貴社に対する法的責任を除外または制限する等、そうすることが違法である場合は、いかなる形であれ行いません。** ここには、CDPの過失、または、CDPの従業員、代理人、または下請業者による過失を起因とする死亡あるいは人身傷害に対する法的責任、および、詐欺または詐欺的不実表示に対する法的責任が含まれます。

**当社は事業上の損失に対して責任を負いません。** 本諸条件に従い、CDPと質問書送付企業は、収益の損失、逸失利益、取引上の損失、事業中断、機会損失、暖簾の喪失損、評判の喪失、データまたはソフトウェアの損失、損害または破損、もしくは、間接的または派生的な損失または損害について、いかなる状況においても貴社に対して一切の責任を負いません。

**法的責任の除外。** 本諸条件に従い、CDPと質問書送付企業は、いかなる状況においても、CDPへの貴社の回答の内容または提出、貴社の回答の当社による使用、及び/又は、貴社の回答の第三者による使用に起因する法的責任を貴社に対して一切負いません。

**法的責任の制限。** 本諸条件に従い、CDPおよび請求書送付企業の貴社に対する総責任額は、いかなる状況においても、費用相当額または、貴社が費用を支払う必要がない場合には625ポンドに制限されるものとします。

9. 一般条項

**CDPはCDPの権利を他者に譲渡することができます。** CDPは、本諸条件にもとづく権利と義務を、他の組織に譲渡することができます。

**本諸条件にもとづく権利はいずれも、他の誰も有しません**。 本諸条件は貴社とCDPの間で交わされるものです。他の誰も、当該条件のいずれをも行使する権利を有しません。

**完全合意** 本諸条件は御社とCDP間の完全合意を構成します。ただし、回答をサプライチェーンメンバーと共有すると選択した場合は、サプライチェーンメンバー(フォレスト2018)への回答に関する諸条件にも従うものとします。

**変更。** CDPは（自己のため、および、妥当な場合は請求書送付企業のために行動し）本諸条件を随時変更する権利を留保します。かかる変更は直ちに、またはCDPが選択する他の時点で効力を発するものとします。重大な状況の変化が発生した場合には、貴社は、CDPが当該変化を貴社に通知してから30日以内に貴社の回答の取り下げを要求することができます。

**裁判所が、本諸条件の一部が違法であると判断した場合でも、他の条項は引き続き有効とします。** 本諸条件の各パラグラフは独立的に効力を有します。裁判所または関係当局が、本諸条件のいずれかが違法であると判断した場合でも、他のパラグラフは引き続き効力を有します。

**準拠法と管轄裁判所。** 本諸条件はイングランド法を準拠法とし、貴社と当社の両者は、本諸条件またはその内容もしくは構成に起因あるいは関係するいかなる紛争または請求の解決にも、イングランドの裁判所が専属管轄権を有することに同意します。

**言語。** 本諸条件が英語以外の言語に翻訳される場合、英語版が優先します。

10.費用の金額

|  |  |
| --- | --- |
| **回答企業の所在地** | **費用（適用される税金を除く）** |
| ブラジル | BRL 3,560 |
| インド | INR 67,000 |
| 日本 | JPY 97,500 |
| イギリス | GBP 625 |
| 欧州 （イギリスを除く） | EUR 925 |
| 世界のその他の地域 | USD 975 |

11.請求書送付企業

|  |  |
| --- | --- |
| **請求書送付企業** | **回答企業の所在地** |
| CDP Worldwide | オーストラリア、バハマ、バミューダ、ケイマン諸島、チャンネル諸島、香港、インドネシア、アイルランド、マレーシア、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、南アフリカ、韓国、台湾、タイ、トルコ、イギリス |
| CDP Worldwide (Europe) gGmbH | オーストリア、ベルギー、デンマーク、フィンランド、フランス、ドイツ、アイスランド、イタリア、ルクセンブルグ、オランダ、ノルウェー、ポルトガル、スペイン、スウェーデン、スイス |
| CDP North America, Inc | カナダ、米国 |
| Carbon Disclosure Project (Latin America) | アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、メキシコ、ペルー |
| Carbon Disclosure Project India | インド |
| 一般社団法人CDP Worldwide-Japan | 日本 |

回答企業の所在地が上記以外の場合は、質問書送付企業は**CDP Worldwide**としてください。

サプライチェーンメンバー(フォレスト2018)への回答に関する諸条件

**サプライチェーンメンバー向けCDPフォレスト質問書2018に回答する場合に、これらの諸条件が適用されます。投資家質問書にも回答する場合、上記の投資家質問書(フォレスト2018)の回答に関する諸条件も適用されます。**

1. 定義

**CDP**:Charity Commission of England and Walesに登録された公益法人、CDP Worldwideを意味します (チャリティ登録番号 1122330、会社登録番号 05013650)。本諸条件における“ **当社(we)**”、“**当社 (our)**”、“**当社 (us)**”は、CDPを指します。

**期限**: 2018年8月16日を意味します。

**個人情報**: 氏名や職位等、当該データから特定可能な個人の情報を意味します。

**質問書:** 2018年CDPフォレスト質問書を意味します。

**回答企業:** 質問書に回答する企業を意味します。この条件における「**あなた**」および「**あなたの**」の言及は回答企業を指します。

**サプライチェーンメンバー:** そのサプライヤーからのデータを回答する組織を意味します。

2. 当事者

これらの諸条件に対する当事者は、CDPと回答企業とします。

3. 本諸条件

サプライチェーンメンバーに対する質問書の回答を提出する時に適用される諸条件があります。本諸条件に同意されない場合は、respond@cdp.net までご連絡のうえご相談ください。

4.質問書に対する回答

**全般** 質問書へのご回答にあたっては、回答内容を公表するか、非公表にするかを選択できます。CDPでは、ご回答内容を公表するよう強く推奨しておりますが、いかなる場合でもCDPは、御社と、そのすべてが上記関係性を機密にしておく義務がある当社グループ企業と関係企業（例えば、CDP North America, Inc）、当社の国別パートナー、調査パートナー、報告書執筆者、評価パートナー以外に回答するように依頼したサプライチェーンメンバーとの関係を漏らしません。

**回答期限**。 貴社の回答が採点され何らかの報告書に包摂されるには、当社オンライン回答システムを使って期限までに回答を提出する必要があります。

**回答の公表。** 回答を公表することに同意した場合、当社が決定するあらゆる目的のために利用できるようにします (無償であろうとなかろうと)。例えば、回答を当社のWEBサイトで投資家署名者やその他の第三者が利用できるようにすること、そして、回答を評価すること(評価を公表することを含む)を含みます。サプライヤーフォレストモジュール内で回答する情報は非公開として扱われることにご注意ください(詳細は以下をご覧ください)。

**回答の非公表**。 貴社の回答が非公表である場合は、当社は以下に限ってこれを利用できます。

(a) CDPによる受領後速やかに、御社に回答要請したサプライチェーンメンバーが同組織内での利用できるようにする。ただし、回答内容のデータが匿名化または匿名化の効果をもつ方法で集計化されていない限り公表しないことを条件とする。

(b) CDPによる受領後速やかに、貴社の回答を当社グループ企業および関連会社、当社の国別パートナー、調査パートナー、報告書執筆者、および評価パートナーに対して、以下を目的に利用可能にする。

(i) 御社の回答を評価し、A評価を受ける回答企業のスコアを公表すること、そして

(ii) 組織内での利用。回答内容のデータが匿名化または匿名化の効果をもつ方法で集計化されていない限り公表しない。

**サプライヤーフォレストモジュール**回答を公開すると選択した場合でも、サプライヤーフォレストモジュール(質問SF1およびSF2)で回答する情報は非公開として扱われます。質問SF1.1、SF2.1、およびSF2.2aでは、オンライン回答システム(ORS)のドロップダウンメニューを用いてサプライチェーンメンバーを選択してください。各行に対して選択したサプライチェーンメンバーのみが、その情報にアクセスできます。サプライヤーフォレストモジュールのその他すべての質問については、御社に回答要請した全てのサプライチェーンメンバーがその情報にアクセスできます。なお、サプライヤーフォレストモジュールで回答した情報は、CDPの他、守秘義務を有するグループ企業、関連会社、国別パートナー、調査パートナー、報告書執筆者、評価パートナーも利用できるようになります。

**回答の修正。** 回答は、いったん提出した後でも、期限前であればいつでも修正できます。期限後は、貴社の回答を修正できるのはCDPスタッフのみであり、費用が発生する場合もあります。期限後の回答の修正は、評価や報告書に反映されない場合がありますのでご注意ください。

**回答の評価。** 当社のオンライン回答システムを用いて期限内に英語で回答を提出すると、回答への評価が行われます。期限後であっても2018年10月1日までに英語で回答を提出すれば、有料でオンデマンド評価を請求することが可能です。詳細についてはscorefeedback@cdp.net宛に電子メールを送るか、英語以外の言語で回答を提出したい場合は、評価についての情報に関して現地のCDP事務所にお問い合わせください。

5．回答上の権利

**所有権。** 貴社の回答の知的財産権はすべて、貴社または貴社のライセンサーが所有します。

**ライセンス。**貴社は、当社が本諸条件にもとづく用途のために貴社の回答および貴社の回答の一切の著作権およびデータベース権を使用するための無制限、取消不能、非排他的、譲渡可能、再許諾可能、ロイヤリティーフリー、およびグローバルなライセンスを当社に授与、または当社のために入手しなければなりません。

6. 重要な表明

貴社は以下について確認します。

(a) CDPへの回答提出者は、貴社より回答提出許可を得た者であること、

(b) CDPに回答を提出するうえで必要な同意と許可をすべて取得済みであること、および、

(c) 貴社が提出する回答は、

(i) いかなる第三者の権利（プライバシー権、パブリシｰ権、または知的財産権を含む）を侵害することはない、

(ii) いかなる第三者を中傷することはない、および

(iii) いかなる個人情報も含んいない。

7. 法的責任

**当社は、当社の貴社に対する法的責任を除外または制限することは、そうすることが違法である場合はいかなる形であれ行いません。** ここには、CDPの過失、または、CDPの従業員、代理人、または下請業者による過失を起因とする死亡あるいは人身傷害に対する法的責任、および、詐欺または詐欺的不実表示に対する法的責任が含まれます。

**当社は事業上の損失に対して責任を負いません。** 本諸条件に従い、CDPは、収益の損失、逸失利益、取引上の損失、事業中断、機会損失、暖簾の喪失損、評判の喪失、データまたはソフトウェアの損失、損害または破損、もしくは、間接的または派生的な損失または損害について、いかなる状況においても貴社に対して一切の責任を負いません。

**法的責任の除外。**本諸条件に従い、CDPは、いかなる状況においても、当社への貴社の回答の内容または提出、貴社の回答の当社による使用、及び/又は、貴社の回答の第三者による使用に起因する法的責任を貴社に対して一切負いません。

**法的責任の制限。** これらの諸条件を条件として、いかなる場合でもCDPの負債総額は£625を限度とします。

8. 全般

**当社は当社の権利を他者に譲渡することができます。** CDPは、本諸条件にもとづく権利と義務を、他の組織に譲渡することができます。

**本諸条件にもとづく権利はいずれも、他の誰も有しません**。 本諸条件は貴社とCDPの間で交わされるものです。他の誰も、当該条件のいずれをも行使する権利を有しません。

**完全合意** 本諸条件は御社とCDPの間の完全合意を構成します。ただし、回答を投資家と共有すると選択した場合は、投資家質問書(フォレスト2018)への回答に関する諸条件にも従うものとします。

**変更。** CDPはいつでも本諸条件を変更する権利を留保します。かかる変更は直ちに、またはCDPが選択する他の時点で効力を発するものとします。重大な状況の変化が発生した場合には、貴社は、CDPが当該変化を貴社に通知してから30日以内に貴社の回答の取り下げを要求することができます。

**裁判所が、本諸条件の一部が違法であると判断した場合でも、他の条項は引き続き有効とします。** 本諸条件の各パラグラフは独立的に効力を有します。裁判所または関係当局が、本諸条件のいずれかが違法であると判断した場合でも、他のパラグラフは引き続き効力を有します。

**準拠法と管轄裁判所。**本諸条件はイングランド法を準拠法とし、貴社と当社の両者は、本諸条件またはその内容もしくは構成に起因あるいは関係するいかなる紛争または請求の解決にも、イングランドの裁判所が専属管轄権を有することに同意します。

**言語。** 本諸条件が英語以外の言語に翻訳される場合、英語版が優先します。

About CDP

CDP is an international non-profit that drives companies and governments to reduce their greenhouse gas emissions, safeguard water resources and protect forests.

Voted number one climate research provider by investors and working with institutional investors with assets of US$96 trillion, we leverage investor and buyer power to motivate companies to disclose and manage their environmental impacts.

Over 7,000 companies with some 50% of global market capitalization disclosed environmental data through CDP in 2018. This is in addition to the over 750 cities, states and regions who disclosed, making CDP’s platform one of the richest sources of information globally on how companies and governments are driving environmental change. CDP, formerly Carbon Disclosure Project, is a founding member of the We Mean Business Coalition. Please visit [www.cdp.net](http://www.cdp.net) or follow us @CDP to find out more.

**What is the legal status of CDP?**

CDP Worldwide (CDP) is a UK Registered Charity no. 1122330 and a company limited by guarantee registered in England no. 05013650. The charity has wholly owned subsidiaries in Germany and China and companies in Australia, Brazil and India over which it exercises control through majority Board representation. In the US, CDP North America, Inc. is an independently incorporated affiliate which has United States IRS 501(c)(3) charitable status.

© 2019 CDP Worldwide

Supported by

